

令和5年度 離島・過疎地域づくり  
DX促進による移住定住PR等事業

実施報告書

令和6年3月

離島・過疎地域DX促進企業連携体

## 目次

<b>第1章</b>	<b>はじめに</b> .....	<b>3</b>
<b>第2章</b>	<b>業務概要</b> .....	<b>4</b>
2.1	業務目的.....	4
2.2	本業務における取組の特徴.....	4
<b>第3章</b>	<b>PR 動画の制作・発信</b> .....	<b>6</b>
3.1	業務内容.....	6
3.2	動画制作の業務フロー.....	7
3.3	制作動画一覧.....	8
3.4	制作・掲載動画（おきなわ島ぐらし）.....	8
<b>第4章</b>	<b>2 地域居住先輩体験者記事の作成等</b> .....	<b>13</b>
4.1	業務内容.....	13
4.2	2 地域居住先輩体験者記事の作成等の業務フロー.....	13
4.3	制作記事一覧.....	14
4.4	制作・掲載記事.....	14
<b>第5章</b>	<b>WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等</b> .....	<b>16</b>
5.1	業務内容.....	16
5.2	WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等の業務フロー.....	16
5.3	制作記事一覧.....	18
5.4	制作・掲載記事.....	18
<b>第6章</b>	<b>2 地域居住者等の関係人口を創出するためのモニターツアーの実施</b> .....	<b>19</b>
6.1	業務内容.....	19
6.2	モニターツアー実施の業務フロー.....	19
6.3	実施モニターツアー一覧.....	20
6.4	実施モニターツアー.....	20
<b>第7章</b>	<b>先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築</b> .....	<b>25</b>
7.1	業務内容.....	25
7.2	先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築の業務フロー.....	25
7.3	相談一覧.....	26
7.4	相談内容.....	26

<b>第8章</b>	<b>関係人口等とのワークショップ等の開催</b> .....	<b>29</b>
8.1	業務内容.....	29
8.2	関係人口等とのワークショップ等の開催の業務フロー .....	29
8.3	ワークショップ開催一覧 .....	30
8.4	ワークショップ開催.....	30
<b>第9章</b>	<b>PR 等の効果検証</b> .....	<b>32</b>
9.1	効果検証の概要.....	32
9.2	モニターツアー評価.....	32
9.3	ワークショップ評価.....	44
9.4	チャット相談員評価.....	50
9.5	PR 記事・動画の閲覧 .....	51
9.6	PR 活動全般に関する自己評価.....	80
9.7	今後の移住促進 PR 活動のあり方についての検討 .....	82
<b>第10章</b>	<b>おわりに</b> .....	<b>84</b>

## 第1章 はじめに

本報告書は、沖縄県が実施した「令和5年度離島・過疎地域づくり DX 促進による移住定住 PR 等事業」で実施された活動内容の報告である。県では令和4年度から「離島・過疎地域づくり DX 促進事業」として、デジタル技術を活用した移住定住条件の整備に取り組んでおり、本報告は、令和5年度における事業の報告をとりまとめたものである。

本事業では、沖縄の離島・過疎地域への移住定住を促進するための各種プロモーション活動を実施した。その際、将来的な移住に繋がる可能性がある関係人口を創出するために、2地域居住者等の誘致を図ることも主要な狙いとした。また、沖縄の離島・過疎地域への移住への関心を高めるための取組に加えて、移住ないし2地域居住後の定住条件整備につながる支援サービスのプロモーション活動も実施した。

各種 PR 活動を実施する際に、DX 促進の取組としてデジタル技術を積極的に活用した。プロモーション用の記事や動画を作成し、移住する際に必要となる情報をデジタル媒体等で発信した。先輩移住者を活用した相談・受入体制の構築にあたっては、オンライン相談窓口を用意し、運用した。2地域居住者等の関係人口を創出するためのモニターツアーの実施に際しては、オンラインで周知・募集を図った。さらに、関係人口等とのワークショップをオンラインで開催した。

本報告書では、事業で実施した活動を紹介するとともに、事業検証の結果もあわせて報告する。本章に続く第2章から第8章において、各種プロモーション活動を報告する。そして第9章において、本事業の検証結果をまとめた。

## 第2章 業務概要

### 2.1 業務目的

成長著しいデジタル技術の活用は、離島・過疎地域の距離と時間の制約を解消し、地理的条件不利性の克服に繋がることが期待されるため、県では令和4年度から「離島・過疎地域づくり DX 促進事業」として、オンライン学習塾支援や高齢者等の見まもり支援を実施し、デジタル技術を活用した移住定住条件の整備に取り組んでいる。

本業務では、これらのデジタル技術の活用による移住定住条件の整備を促進したうえで、移住する際に必要となる情報を発信するため、デジタル広報によるプロモーション施策などを実施した。

### 2.2 本業務における取組の特徴

#### (1) 移住経験のある地元テレワーカーによる各種 PR 活動

- 本提案の重要な特徴は、令和元年度より沖縄県（企画部地域・離島課）の補助を受けて提案者が実施してきた「離島テレワーク人材育成補助事業」をはじめとした、「テレワーク人材育成事業」と連携し、主要な業務を実施することにある。
- 以下の事業と連携して業務を実施した。業務実施に際して、県内離島・本島北部のテレワーカーに本事業の PR 業務の多くを担当してもらった。

事業名	発注者	事業概要	主な活動	実施年度	参加人数
離島テレワーク人材育成補助事業	沖縄県	県内全離島市町村を対象として、個人事業主型テレワーカーとしての育成、テレワーク業務の斡旋や就業支援などを実施する事業者へ助成を行うことにより、離島住民の所得向上及び島外から仕事を取り込む環境を構築する。	○テレワーカー等の募集 ○テレワーカー等の育成 ○テレワーカー等の就業支援 ○テレワーク等環境の構築	令和元年	715名 (令和5年 6月現在)
離島ICT利活用人材等高度化補助事業	沖縄県	沖縄県内の離島地域においてテレワーカーの高付加価値を目指した人材育成、テレワーク等の斡旋、就業支援等により、離島住民の収入の安定及び向上を図り、島外から仕事を取り込む環境を構築する。		令和2年	
				令和3年	
テレワーカー人材育成事業業務	本部町	本部町においてテレワーカーの人材育成と就労支援等を実施することにより、町民の新たな収入源確保に繋げ、多様な働き方で環境の変化に対応できる強い地域経済の構築を目的とする。	令和4年	59名	

#### (2) 移住経験者自身の声による PR

上記事業に登録されている離島の地元テレワーカー 715名 のうち、少なくとも 274人（38%）が移住者（移住経験者）である。また、本島北部（本部町）の地元テレワーカー59名のうち、15名（25%）が移住者（移住経験者）である。すなわち、先輩移住者としての経験を生かして業務にあたってもらった。

	登録人数	本島から移住	県外から移住	女性の割合
離島	715名	25名 (3%)	249名 (35%)	513名 (72%)
本部町	59名	0人 (0%)	15名 (25%)	49名 (83%)

### 第3章 PR 動画の制作・発信

離島・過疎地域での移住後の生活をより具体的にイメージ出来るよう、実際の先輩移住者等をモデルとした PR 動画を制作した。本章では、PR 動画の制作・発信に係わる業務の実施内容を報告する。

#### 3.1 業務内容

PR 動画の制作・発信に関する実施予定業務の仕様は、以下のとおり。

実施予定業務
<p>離島・過疎地域での移住後の生活をより具体的にイメージ出来るよう、実際の先輩移住者等をモデルとした動画を制作すること。</p> <p>制作数としては、小規模離島、本島内過疎地域（本島北部地域等）において、「生活」「仕事」「余暇」など地域で生活するうえで必要なカテゴリーごとに短編動画を制作し、1地域3本、合計6本以上の制作すること。</p> <p>なお、動画の時間については、5～10分以内とするなど、視聴者が興味を持ち且つ飽きない構成を意識すること。</p> <p>制作した動画は、YouTube チャンネル「おきなわ島ぐらし」に掲載すると共に、広告配信を行うなど広く周知を行うこと。</p>

上記の仕様を満たすかたちで、以下の業務を実施した。

実施済業務
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 離島・過疎地域での移住後の生活をより具体的にイメージ出来るよう、実際の先輩移住者等をモデルとした動画を制作した。</li> <li>○ 離島、本島内過疎地域（本島北部地域等）において、「生活」「仕事」「余暇」など地域で生活するうえで必要なカテゴリーごとに短編動画を制作し、1地域3本、6地域を対象に合計21本制作した。</li> <li>○ 動画の時間については、5～10分以内とするなど、視聴者が興味を持ち且つ飽きない構成を意識した。</li> <li>○ 制作した動画は、YouTube チャンネル「おきなわ島ぐらし」に掲載すると共に、広告配信を行うなど広く周知を行った。</li> </ul>

## 3.2 動画制作の業務フロー

PR 動画の制作・発信に関する動画制作の業務フローは、以下のとおり。

1. 対象となる離島・過疎地域を選定  
(石垣市、多良間村、大宜味村、粟国村、伊是名村、久米島町)
2. 動画制作を担当する離島・過疎地域への先輩移住者を選定  
テレワーカーや自治体紹介者内から面接にて選定 (6 地域、計 7 名)
3. 動画制作方針を決定  
1 本 5 分～10 分、1 地域につき 3 本制作、6 地域 7 名を対象に合計 21 本の動画制作
4. インタビュー設計  
**【移住体験や心の中の思い】**  
1 本目：移住検討から移住実施までのストーリー
  - ① 経歴・移住のきっかけ
  - ② 移住前の情報収集
  - ③ 家族への説得
  - ④ 家探し
  - ⑤ 下見の注意点
  - ⑥ 引っ越し方法
  - ⑦ 移住支援2 本目：現在の生活スタイル
  - ① 地域での過ごし方
  - ② 生活環境について (仕事、買い物、食事、病院、学校)
  - ③ 上手に暮らすコツ
  - ④ 地域との関わり3 本目：感想
  - ① 移住して驚いたこと／よかったこと／困ったこと
  - ② 地域の魅力
  - ③ 今後の夢や目標
  - ④ 移住希望者に向けたメッセージ
5. インタビュー実施  
動画の出演は、先輩移住者が担当  
事前準備、プロデュース、ディレクション、カメラマン、インタビュアー、撮影／録音機材の準備等は、事務局が担当
6. 動画編集  
動画編集を希望するテレワーカーに対しコンペティションを実施し、選定  
動画編集は、コンペティションで選定されたテレワーカーが担当



オープニング・エンディング・テロップ・BGM・音声・インサート・明るさなどの指示や納品チェックは、事務局が担当

### 7. 掲載・周知

完成した動画に文章を添えて、YouTube チャンネル「おきなわ島ぐらし」に掲載すると共に周知を実施

<周知が実施されたデジタル広報媒体>

- ① サイト「おきなわ島ぐらし」
- ② SNS「おきなわ島ぐらし」
- ③ 石垣市公式 LINE（移住・定住の受信設定をオンにしている方へ配信）
- ④ 石垣市「移住定住支援ポータルサイト」
- ⑤ 多良間村ホームページ
- ⑥ 大宜味村ホームページ
- ⑦ 粟国島ポータルサイト「Agnity」
- ⑧ 伊是名村ホームページ
- ⑨ 久米島「島ぐらしガイド」

## 3.3 制作動画一覧

制作された動画には、地域ごとに以下の先輩移住者が出演した。

対象地域	インタビュー性別	移住歴	出身地
石垣島	男性	20年	北海道
	女性	13年	兵庫県
多良間島	女性	2年	神奈川県
大宜味村	男性	4年	沖縄県本島
粟国島	女性	13年	神奈川県
伊是名島	女性	16年	大阪府
久米島	女性	16年	茨城県

## 3.4 制作・掲載動画（おきなわ島ぐらし）

制作された動画は、以下のように YouTube チャンネル「おきなわ島ぐらし」に掲載された。

### 3.4.1 石垣市①

石垣島在住の方（男性・移住歴 20 年・北海道出身）の動画

	YouTube チャンネル 「おきなわ島ぐらし」 URL	画像
1 本目	<a href="https://youtu.be/jSQ9bDDzGKk">https://youtu.be/jSQ9bDDzGKk</a>	
2 本目	<a href="https://youtu.be/8PeUGz-kXi8">https://youtu.be/8PeUGz-kXi8</a>	
3 本目	<a href="https://youtu.be/EAOpWO62AJc">https://youtu.be/EAOpWO62AJc</a>	

### 3.4.1 石垣市②

石垣島在住の方（女性・移住歴 13 年・兵庫県出身）の動画

	YouTube チャンネル 「おきなわ島ぐらし」 URL	画像
1 本目	<a href="https://youtu.be/SvmdzP3OK0w">https://youtu.be/SvmdzP3OK0w</a>	
2 本目	<a href="https://youtu.be/ZlxE77T0Atk">https://youtu.be/ZlxE77T0Atk</a>	
3 本目	<a href="https://youtu.be/26HSYekCo7g">https://youtu.be/26HSYekCo7g</a>	

### 3.4.2 多良間村

多良間島在住の方（女性・移住歴2年・神奈川県出身）の動画

	YouTube チャンネル 「おきなわ島ぐらし」 URL	画像
1 本目	<a href="https://youtu.be/YLhjSwX_M64">https://youtu.be/YLhjSwX_M64</a>	
2 本目	<a href="https://youtu.be/rvF2gzOfcbA">https://youtu.be/rvF2gzOfcbA</a>	
3 本目	<a href="https://youtu.be/BVOnMOMJFwo">https://youtu.be/BVOnMOMJFwo</a>	

### 3.4.3 大宜味村

大宜味村在住の方（男性・移住歴4年・沖縄県本島出身）の動画

	YouTube チャンネル 「おきなわ島ぐらし」 URL	画像
1 本目	<a href="https://youtu.be/UqYpACIHj5s">https://youtu.be/UqYpACIHj5s</a>	
2 本目	<a href="https://youtu.be/iZPf6tERe0">https://youtu.be/iZPf6tERe0</a>	
3 本目	<a href="https://youtu.be/wgv8k6SUTZc">https://youtu.be/wgv8k6SUTZc</a>	

### 3.4.4 粟国村


粟国島在住の方（女性・移住歴 13 年・神奈川県出身）の動画

	YouTube チャンネル 「おきなわ島ぐらし」 URL	画像
1 本目	<a href="https://youtu.be/afC_lhxR3ic">https://youtu.be/afC_lhxR3ic</a>	
2 本目	<a href="https://youtu.be/8OGAcGesxXM">https://youtu.be/8OGAcGesxXM</a>	
3 本目	<a href="https://youtu.be/3GADhr6I2Gw">https://youtu.be/3GADhr6I2Gw</a>	

### 3.4.5 伊是名村

伊是名島在住の方（女性・移住歴 16 年・大阪府出身）の動画

	YouTube チャンネル 「おきなわ島ぐらし」 URL	画像
1 本目	<a href="https://youtu.be/je_P9qSZ6ak">https://youtu.be/je_P9qSZ6ak</a>	
2 本目	<a href="https://youtu.be/M6VX1UGUq4E">https://youtu.be/M6VX1UGUq4E</a>	

3 本目	<a href="https://youtu.be/LwDf4PrYv-k">https://youtu.be/LwDf4PrYv-k</a>	
------	---	---

### 3.4.6 久米島町

久米島在住の方（女性・移住歴 16 年・茨城県出身）の動画

	YouTube チャンネル 「おきなわ島ぐらし」 URL	画像
1 本目	<a href="https://youtu.be/OLGwHA2z2Lc">https://youtu.be/OLGwHA2z2Lc</a>	
2 本目	<a href="https://youtu.be/J-Sy2A4MG0g">https://youtu.be/J-Sy2A4MG0g</a>	
3 本目	<a href="https://youtu.be/UJoW75k5LpE">https://youtu.be/UJoW75k5LpE</a>	

## 第4章 2地域居住先輩体験者記事の作成等

県内の離島・過疎地域で実際に2地域居住を実践している方の体験記事を制作した。本章では、2地域居住先輩体験者記事の作成等に係わる業務の実施内容を報告する。

### 4.1 業務内容

2地域居住先輩体験者記事の作成等に関する実施予定業務の仕様は、以下のとおり。

実施予定業務
<p>県内の離島・過疎地域で実際に2地域居住を実践している方等に体験記事を制作して貰い、沖縄県公式移住応援サイトおきなわ島ぐらしに掲載すること。</p> <p>実践者の募集にあたっては広く周知するなど、予算の範囲内で様々な体験記事の掲載が出来るよう仕組みを検討・構築すること。</p>

上記の仕様を満たすかたちで、以下の業務を実施した。

実施済業務
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内の離島・過疎地域で実際に2地域居住を実践している方等に体験記事を制作して貰った。</li> <li>○ 沖縄県公式移住応援サイトおきなわ島ぐらしに掲載した。</li> <li>○ 実践者の募集にあたっては広く周知した。</li> <li>○ 様々な体験記事の掲載が出来るよう仕組みを検討・構築した。</li> </ul>

### 4.2 2地域居住先輩体験者記事の作成等の業務フロー

2地域居住先輩体験者記事の作成等の業務フローは、以下のとおり。

1. 対象となる離島・過疎地域を選定（石垣市、大宜味村、うるま市(津堅島)）
2. 記事制作を担当する離島・過疎地域で実際に2地域居住を実践している方を選定  
テレワーカーや自治体紹介者内から面接にて選定（3地域、1本ずつ、計3名）
3. インタビュー設計
  - ① 2地域居住や移住のきっかけ・決め手
  - ② 2地域間の住み分け・行き来するペース
  - ③ 沖縄離島・過疎地域で過ごすメリット
  - ④ 2地域居住での苦勞
  - ⑤ 2地域それぞれの1日の生活サイクル
  - ⑥ 2地域居住の前と後での変化

- ⑦ 2 地域居住のありがたみ
- ⑧ 2 地域居住検討者へのメッセージ

4. インタビュー実施

インタビュー質問内容を記載した Google ドキュメントをインタビューイーに渡し、文字で回答してもらう

5. 写真の提供

インタビュー回答者の（本人の写真、家族写真、沖縄の離島・過疎地域の写真、それ以外の居住地の写真、仕事中的写真など）写真の提供

6. インタビュー記事作成

インタビュー記事執筆経験のあるテレワーカーがインタビュー記事執筆（文字数目安：2000 文字以上／記事）

事務局がディレクション・校正・納品

7. 掲載

サイト「おきなわ島ぐらし」に掲載

4.3 制作記事一覧


地域ごとに以下の 2 地域居住経験者にインタビューを行い、記事を制作した。

対象地域	2 地域居住地	インタビューイー性別	出身地
石垣島	大阪府	女性	愛知県
大宜味村	本部町	女性	千葉県
津堅島	沖縄市	男性	沖縄県本島


4.4 制作・掲載記事

制作された記事は、以下のように沖縄県公式移住応援サイト「おきなわ島ぐらし」に掲載された。


#### 4.4.1 石垣市

サイト「おきなわ島ぐらし」URL	画像
<a href="https://okinawa-iju.jp/news/16741/">https://okinawa-iju.jp/news/16741/</a>	

#### 4.4.2 津堅島（うるま市）

サイト「おきなわ島ぐらし」URL	画像
<a href="https://okinawa-iju.jp/news/16173/">https://okinawa-iju.jp/news/16173/</a>	

#### 4.4.3 大宜味村

サイト「おきなわ島ぐらし」URL	画像
<a href="https://okinawa-iju.jp/news/16652/">https://okinawa-iju.jp/news/16652/</a>	



## 第5章 WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等

デジタル技術を活用した移住定住条件の整備として実施されているオンライン学習塾及び高齢者の見まもり支援サービスの利用者の紹介記事を制作し、サイトや SNS で配信を行った。本章では、WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等に係わる業務の実施内容を報告する。

### 5.1 業務内容

WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等に関する実施予定業務の仕様は、以下のとおり。

実施予定業務
デジタル技術を活用した移住定住条件の整備として、オンライン学習塾及び高齢者の見まもり支援サービスの導入補助を行っており、実際の利用者の紹介記事を作成し移住 WEB 媒体への掲載や SNS での広告配信を行うなど、広く周知を行うこと。

上記の仕様を満たすかたちで、以下の業務を実施した。

実施済業務
○ オンライン学習塾及び高齢者の見まもり支援サービスの実際の利用者の紹介記事を作成した。
○ 移住 WEB 媒体への掲載や SNS での広告配信を行うなど、広く周知を行った。

### 5.2 WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等の業務フロー

WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等の業務フローは、以下のとおり。

1. 対象地域・紹介する利用者を選定  
当該サービスの利用地域、記事で紹介する利用者を補助事業者から紹介  
(オンライン学習塾：東村、高齢者の見まもり支援サービス：大宜味村)
2. インタビュー設計  
  - <オンライン学習塾>
    - ① 知ったきっかけ
    - ② 利用しようと思ったきっかけ
    - ③ 地域の学校教育の現状・学校の全体の学力など
    - ④ これまでに塾などに通った経験

- ⑤ パソコンの使用経験
- ⑥ これまでのオンライン授業の経験
- ⑦ パソコン操作の必要性
- ⑧ 使ってみて良かったこと
- ⑨ 成績は上がったか
- ⑩ 学習に対する意識の変化
- ⑪ これからも使い続けたいか

<見まもり支援サービス>

- ① 知ったきっかけ
- ② 導入しようと思ったきっかけ
- ③ 設置までの流れ
- ④ 操作方法
- ⑤ 使ってみて良かったこと
- ⑥ これからも使い続けたいか

3. インタビュー実施

事務局が実際の利用者を訪問し、本人と家族2名ずつ、合計4名の利用者へのインタビューを実施（音源を録音）

事務局がインタビュー回答者の写真、実際に使用している写真の撮影

4. インタビュー記事作成

インタビュー記事執筆経験のあるテレワーカーが音源を聴いてインタビュー記事執筆  
事務局がディレクション・校正・納品

5. 掲載・周知

サイト「おきなわ島ぐらし」への掲載や SNS での広告配信を行うなど、広く周知

<周知>

- ① SNS「おきなわ島ぐらし」
- ② 大宜味村公式 LINE
- ③ 東村広報誌
- ④ 大宜味村広報誌
- ⑤ 国頭村広報誌
- ⑥ 補助事業者ホームページ
- ⑦ 補助事業者 SNS

### 5.3 制作記事一覧


サービスごとに、以下の利用者にインタビューを行い、記事を制作した。

サービス	対象地域	インタビュー 性別（利用者）	インタビュー 関係性（家族）
オンライン学習塾	東村	男性	母親
見まもり支援サービス	大宜味村	女性	娘

### 5.4 制作・掲載記事


制作された記事は、以下のように沖縄県公式移住応援サイト「おきなわ島ぐらし」に掲載された。

#### 5.4.1 オンライン学習塾（東村）

サイト「おきなわ島ぐらし」URL	画像
<a href="https://okinawa-iju.jp/news/16781/">https://okinawa-iju.jp/news/16781/</a>	

また、オンライン学習塾に関する記事は、補助事業者ホームページでも紹介された。

#### 5.4.2 高齢者見守り支援サービス（大宜味村）

サイト「おきなわ島ぐらし」URL	画像
<a href="https://okinawa-iju.jp/news/16060/">https://okinawa-iju.jp/news/16060/</a>	

また、高齢者見守り支援サービスに関する記事は、大宜味村公式 LINE、東村広報誌、大宜味村広報誌、国頭村広報誌、補助事業者ホームページ・SNS でも紹介された。

## 第6章 2 地域居住者等の関係人口を創出するためのモニターツアーの実施

将来的な移住に繋がる可能性がある関係人口を創出するために、オーダーメイド型のモニターツアーを開催した。本章では、2 地域居住者等の関係人口を創出するためのモニターツアーの実施に係わる業務の実施内容を報告する。

### 6.1 業務内容

2 地域居住者等の関係人口を創出するためのモニターツアーの実施予定業務の仕様は、以下のとおり。

実施予定業務
現在居住している地域とは別に、県内の離島・過疎地域の中短期滞在を通して田舎暮らしを体験し愛着を持って貰うことで、将来的な移住に繋がる可能性がある関係人口を創出するために、リモートワーカー等の2 地域居住者等の誘致を図るモニターツアーを開催すること。(3~4 地域程度での開催を想定)

上記の仕様を満たすかたちで、以下の業務を実施した。

実施済業務
○ オーダーメイド型を採用し、リモートワーカー等の2 地域居住者等の誘致を図るモニターツアーを3 地域で開催した。

### 6.2 モニターツアー実施の業務フロー

モニターツアー実施の業務フローの業務フローは、以下のとおり。

1. 対象地域を選定 (石垣市、多良間村、粟国村)
2. ガイドを担当する離島・過疎地域への先輩移住者を選定  
テレワーカー内から面接にて選定 (3 地域、計 3 名)
3. 日程の決定  
募集期間中随時実施
4. モニターツアー内容の設定  
1 日または半日のオーダーメイド型モニターツアー
5. モニターツアーの実施  
旅行代理店がモニターツアーのパッケージ化・募集販売支援  
事務局がツアーの企画、運営を担当  
先輩移住者のテレワーカーが現地サポートならびに視察ガイドを担当

### 6.3 実施モニターツアー一覧

モニターツアーの地域ごとの実施概要は、以下の一覧のとおり。

対象地域	ガイド性別	ツアー日	人数	状況
石垣島	女性	2024年2月17日	1名	実施
		2024年2月22日	1名	実施
		2024年2月23日	2名	実施
多良間島	男性	2024年2月12日	1名	実施
		2024年3月9日	1組(2名)	実施
		2024年3月10日	1組(2名)	実施
粟国島	女性	2024年3月3日	1名	天候都合により振替
		2024年3月10日	1名	お客様都合によりキャンセル
		2024年3月10日	1組(2名)	お客様都合により振替
		2024年3月10日	1名	実施

### 6.4 実施モニターツアー

実施したモニターツアーにおける参加者の要望事項、訪問先等は、以下のとおり。

#### 6.4.1 石垣市

日にち(実施状況)	参加者の要望	訪問場所
2024年2月17日 (実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育て</li> <li>● 学校</li> <li>● 伝統文化・芸術</li> <li>● 自然</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 伊野田小学校</li> <li>● 伊原間中学校</li> <li>● 平久保小学校</li> <li>● 平久保集落案内</li> <li>● 野底小学校</li> <li>● 塾・習い事事情の紹介</li> <li>● 石垣市立図書館</li> <li>● 石垣市民会館中ホール (シネマ組踊鑑賞)</li> <li>● 三線屋さん</li> <li>● 川平小中学校</li> <li>● 富野小中学校</li> </ul>

2024年2月22日 (実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 買い物事情</li> <li>● 移住後の手続き</li> <li>● 病院など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エディオン</li> <li>● マックスバリュ</li> <li>● メイクマン</li> <li>● リサイクルショップやいま</li> <li>● エコショップ</li> <li>● 旧石垣市役所周辺</li> <li>● JA ゆらていく市場</li> <li>● 石垣市公設市場</li> <li>● ユイロード</li> <li>● サンキ</li> <li>● マックスバリュ新川店</li> <li>● 沖縄県立八重山病院</li> <li>● 石垣市役所</li> <li>● ドン・キホーテ</li> <li>● ニトリ</li> </ul>
2024年2月23日 (実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公設市場</li> <li>● 石垣島天文台</li> <li>● ミンサー織り</li> <li>● 市役所</li> <li>● 病院</li> <li>● 食料、買い物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公設市場</li> <li>● ユーグレナモール</li> <li>● 星野商店</li> <li>● ハッピーマートほんな</li> <li>● 市役所</li> <li>● 八重山病院視</li> <li>● 職場見学</li> <li>● ミンサー織り体験</li> </ul>

#### 6.4.2 多良間村

日にち (実施状況)	参加者の要望	訪問場所
2024年2月12日 (実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住まい</li> <li>● 生活スタイル等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● すまむたらま (特産品・工芸品・ワーキングスペースの見学、ガイドから多良間村の説明等)</li> <li>● 民家の見学</li> <li>● 商店</li> <li>● 集落散策 (介護施設、小学校、診療所、役場)</li> </ul>

		ど) ● 産業見学 (サトウキビ畑など)
2024年3月9日 (実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファン・ボッセ号の座礁地</li> <li>● 民族資料館</li> <li>● 漁師かダイビング業者との面会</li> <li>● 八月踊りの関係者と面会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前泊漁港(漁港と水納島の説明)</li> <li>● たらま漁港 (漁業者と面会)</li> <li>● 牛舎(畜産業者と面会)</li> <li>● 製糖工場(黒糖製造の工場について説明)</li> <li>● 普天間御嶽(島の行事や名所について説明)</li> <li>● オランダ商船遭難の地</li> <li>● 八重山遠見台</li> <li>● ふるさと民俗学習館 (八月踊りや島の文化、歴史について説明)</li> <li>● たねび食堂 (漁業者と面会)</li> <li>● ダイビング業者との面会</li> <li>● 集落散策(定住住宅、商店、役場、学校、診療所など)</li> <li>● フクギ並木・塩川御嶽</li> <li>● 中央スーパー</li> </ul>
2024年3月10日 (実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療機関</li> <li>● スーパーなど生活するための施設</li> <li>● 賃貸住宅見学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● たらま漁港 (漁業者と面会)</li> <li>● 牛舎(畜産業者と面会)</li> <li>● 製糖工場(黒糖製造の工場について説明)</li> <li>● 普天間漁港</li> <li>● トゥブリ巡り</li> <li>● 八重山展望台</li> <li>● 定住促進住宅見学</li> <li>● 集落散策定 (診療所外見・図書館・商店・役所</li> </ul>

		外見・歯医者など) ● フクギ並木・塩川御嶽 ● すまむねたらま（移住者と2拠点移住予定者と面会）
--	--	---

### 6.4.3 粟国村

日にち（実施状況）	参加者の要望	訪問場所
2024年3月3日 （天候都合により3月10日に振替）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日常生活まわりの環境</li> <li>● 飲食店での外食</li> <li>● 空室物件見学</li> </ul>	予定していた訪問場所 ● 3月10日と同様
2024年3月10日 （お客様都合によりキャンセル）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 島の文化</li> <li>● 自然</li> </ul>	予定していた訪問場所 ● 浜商店 ● 集落（歯科診療所・粟国村役場・診療所・郵便局） ● 東ヤマトウガー ● ヤヒジャ海岸 ● マハナ展望台 ● 番屋跡 ● 丸三飯店 ● ぬるどうんち ● 大正池 ● 沖縄海塩研究所 ● 長浜ビーチ ● 西の浜 ● 観音堂
2024年3月10日 （お客様都合により3月9日の多良間ツアーに振替）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 漁港</li> <li>● 海岸地形</li> <li>● ウーグの浜</li> <li>● 洞寺</li> <li>● 沖縄海塩研究所</li> <li>● 漁師とダイビン</li> </ul>	予定していた訪問場所 ● 歯科診療所 ● 役場（漁師の方と面会） ● 診療所 ● 郵便局 ● 新城商店



	<p>グ業者に話</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 珊瑚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ヤヒジャ海岸</li> <li>● 洞寺</li> <li>● 沖縄海塩研究所</li> <li>● ショップにてダイビング業者の方と面会</li> </ul>
<p>2024年3月10日 (実施)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 日常生活まわりの環境</li> <li>● 飲食店での外食</li> <li>● 空室物件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集落散策（歯科診療所・栗国村役場・診療所・郵便局）</li> <li>● 民家見学</li> <li>● マハナ展望台</li> <li>● 新城商店</li> <li>● 定住促進住宅</li> <li>● サトウキビ畑</li> <li>● もちきび畑</li> <li>● 精糖工場</li> <li>● 沖縄海塩研究所</li> <li>● 村民牧場</li> <li>● 漁港</li> <li>● 長浜ビーチ</li> </ul>

## 第7章 先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築

デジタルツールを用いて先輩移住者に相談できるプラットフォームを構築・運用した。本章では、先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築に係わる業務の実施内容を報告する。

### 7.1 業務内容

先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築に関する実施予定業務の仕様は、以下のとおり。

実施予定業務
既に県内の離島・過疎地域に移住している先輩移住者を沖縄移住サポーター（仮称）として任命し、デジタルツール（LINE や slack 等のチャットアプリ等）を用いて気軽に相談できるプラットフォームを構築するとともに、移住した方へのアフターフォロー等を実施することで円滑に地域へ馴染める受入体制を構築すること。また、相談対応等を行う上で必要となるスキルや心構え等の研修会を開催すること。

上記の仕様を満たすかたちで、以下の業務を実施した。

実施済業務
○ 既に県内の離島・過疎地域に移住している先輩移住者を沖縄移住サポーターとして任命した。
○ デジタルツールの Google チャットを用いて気軽に相談できるプラットフォームを構築した。
○ 移住した方へのアフターフォロー等を実施することで円滑に地域へ馴染める受入体制を構築した。
○ 相談対応等を行う上で必要となるスキルや心構え等の研修会を開催した。

### 7.2 先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築の業務フロー

先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築の業務フローの業務フローは、以下のとおり。

1. 対象地域を選定（石垣市、多良間村、粟国村）
2. 沖縄移住サポーターの募集と任命

沖縄移住サポーターを担当する離島への先輩移住者を選定

テレワーカー内から面接にて選定（3地域、計3名）

3. プラットフォームの選定と構築

データ分析および先輩移住者の意見を参考に、パソコンだけでなくスマホアプリで利用可能なデジタルクラウド型ツール Google 社の Google チャットを選定

4. サポート業務設計とサポーター研修

サポート業務の設計を行い、サポートを行う際の業務マニュアルを作成  
事務局が沖縄移住サポーターに業務研修をおこない、本人のスキルと適性を確認した上で、正式な任命

5. 相談対応のあり方

デジタルクラウド型ツール Google 社の Google チャット上で、沖縄移住サポーターが、移住を検討中ないし移住初心者への相談対応

6. 本プラットフォームの告知

本事業で制作する動画や記事、実施するツアーやワークショップ、その他の方法で、本プラットフォームの活用を促す告知

### 7.3 相談一覧

地域ごとに、以下の移住サポーターが相談に対応した。

対象地域	沖縄移住サポーター性別	相談件数
石垣市	女性	14 件
多良間村	女性	11 件
粟国村	女性	6 件

### 7.4 相談内容

各地域について、寄せられた相談内容は、以下のとおり。

#### 7.4.1 石垣市

	質問内容
1	治安
2	移住者が比較的多い地域、移住者に適した地域とその理由、移住者が適さない地域とその理由
3	地域の差

4	物価
5	交通状況
6	災害時の対策、被害
7	災害時の食糧の備蓄、どのくらい前から買い出しに行っているか
8	災害時のコンビニの営業
9	職種、収入
10	石垣での子育てのデメリット
11	評判や実績のある建築会社
12	人手不足の業種
13	直近数年間の移住者人数
14	今後の都市開発（比較的大規模な新規事業参入など）

#### 7.4.2 多良間村

質問内容	
1	冬期の中期滞在
2	ヨットを置いておく場所
3	糖尿病の定期診察が出来る病院
4	ATMの有無
5	ハブの生息
6	運動施設の有無
7	高齢者の就ける仕事
8	住居について
9	外国人夫婦受け入れ体制
10	新事業の推進制度
11	生活において島外に出る必要性

### 7.4.3 粟国村

	質問内容
1	フェリー欠航による生活への影響
2	悪天候時のフェリー往復チケットの返金
3	島内での物資の調達
4	島外で買い物をする必要性
5	島内での仕事内容について
6	住居について

## 第8章 関係人口等とのワークショップ等の開催

モニターツアーを実施した地域を重点地域として、当該の3地域への移住促進をテーマとするワークショップを地域ごとに計3回開催した。本章では、関係人口等とのワークショップ等の開催に係わる業務の実施内容を報告する。

### 8.1 業務内容

関係人口等とのワークショップ等の開催に関する実施予定業務の仕様は、以下のとおり。

実施予定業務
<p>職種や働き方が限られる離島・過疎地域において、多様な働き方やスキルを有する2地域居住者等(リモートワーカー)と接点を持つことは、児童等においては進学や就職などの将来の選択肢を増やし、生まれた島に定着し人口流出の抑制にも繋がる。地域住民においては、生活や業務上の困りごとを外部の視点や自身の有するスキルを踏まえ、共に今後の方向性等を考えるキッカケになるためワークショップ等を開催する。</p>

上記の仕様を満たすかたちで、以下の業務を実施した。

実施済業務
<p>○ 地域住民においては、生活や業務上の困りごとを外部の視点や自身の有するスキルを踏まえ、共に今後の方向性等を考えるキッカケになるためワークショップ等を開催した。</p>

### 8.2 関係人口等とのワークショップ等の開催の業務フロー

関係人口等とのワークショップ等の開催の業務フローの業務フローは、以下のとおり。

1. 対象となる離島・過疎地域の選定（石垣市、粟国村、多良間村）
2. ワークショップに登壇する講師の先輩移住者及び2地域居住実践者を選定  
PR動画と2地域居住先輩体験者記事のインタビューの中から選定
3. パネリストを選定  
質疑応答・意見交換の際に、移住者を代表して質問するパネリストをテレワーカーの中から選定
4. ワークショップのプログラムを設計
  - ① 開会
  - ② 沖縄県地域・離島課からのごあいさつ
  - ③ 地域の紹介（地元自治体職員等）

- ④ 先輩移住者体験談（講師：先輩2地域居住者・移住者）
  - ⑤ 質疑応答、意見交換（講師：先輩2地域居住者・移住者、地元自治体職員等）
  - ⑥ その他企画の紹介
  - ⑦ 閉会
5. ワークショップ実施  
各地域ごとに1～2時間程度のオンラインワークショップ（zoom）を生配信にて実施
6. 掲載  
録画した動画を動画編集のスキルを持つテレワーカーが編集し、後日「おきなわ島ぐらし」の記事とYouTubeに投稿

### 8.3 ワークショップ開催一覧

以下の3地域を対象に、計3回のワークショップを同日に開催した。

対象地域	時間	参加人数
多良間村	2024年2月18日 11時00分～	19名（事務局5名を含む）
石垣市	2024年2月18日 13時00分～	20名（事務局5名を含む）
粟国村	2024年2月18日 15時30分～	14名（事務局5名を含む）

### 8.4 ワークショップ開催

ワークショップの実施プログラムと登壇者は、以下のとおり。

#### 8.4.1 多良間村

プログラム	登壇者
① 開会	事務局
② 沖縄県地域・離島課からのごあいさつ	沖縄県 地域・離島課 1名
③ 地域の紹介	多良間村役場 総務財政課 1名
④ 先輩移住者体験談	先輩移住者（テレワーカー） 1名
⑤ 質疑応答、意見交換	多良間村役場 総務財政課 1名 先輩移住者（テレワーカー） 1名
⑥ その他企画の紹介	事務局

⑦ 閉会	事務局
------	-----

#### 8.4.2 石垣市

プログラム	登壇者
① 開会	事務局
② 沖縄県地域・離島課からのごあいさつ	沖縄県 地域・離島課 1名
③ 地域の紹介	一般社団法人ゆんたくガーデン 1名
④ 先輩移住者体験談	先輩移住者（テレワーカー） 3名
⑤ 質疑応答、意見交換	
⑥ その他企画の紹介	事務局
⑦ 閉会	事務局

#### 8.4.3 栗国村

プログラム	登壇者
① 開会	事務局
② 沖縄県地域・離島課からのごあいさつ	沖縄県 地域・離島課 1名
③ 地域の紹介	栗国村役場 総務課 1名
④ 先輩移住者体験談	先輩移住者（テレワーカー） 1名
⑤ 質疑応答、意見交換	
⑥ その他企画の紹介	事務局
⑦ 閉会	事務局



## 第9章 PR等の効果検証

### 9.1 効果検証の概要

本章では、前章までに述べた各種 PR 活動のうち、以下の活動に関する効果検証の結果を報告する。

- ① モニターツアー
- ② ワークショップ
- ③ チャット相談員
- ④ PR 記事・動画

上記4つの活動に関する検証方法は、以下のとおり。

項	活動内容	検証方法
①	モニターツアー	モニターツアー参加者を対象とした参加後に実施するアンケート調査
②	ワークショップ	ワークショップ参加者を対象とした参加後に実施するアンケート調査
③	チャット相談員	チャット相談の個票を検査し、離島・過疎地域への移住先での関心事である「生活」「仕事」「余暇」のカテゴリーごとの相談状況を整理する
④	PR 記事・動画	先輩移住者が評価員となって、アンケート調査によって PR 記事・動画を評価する

### 9.2 モニターツアー評価

第6章で報告した「2 地域居住者等の関係人口を創出するためのモニターツアーの実施」について、モニターツアーの参加者を対象とし、ツアー後にアンケートを実施した。アンケートの実施要領は、以下のとおり。

- 回答者：モニターツアー参加者（全員）
- 参加モニターツアー地域：石垣市、多良間村、粟国村
- 回収サンプル数：10
- 調査実施時期：令和6年2月～3月
- 調査項目：
  - Q1 性別
  - Q2 年齢
  - Q3 移住元
  - Q4 ツアー先
  - Q5 移住候補地
  - Q6 以前訪問目的
  - Q7 2 地域居住目的
  - Q8 地域選択理由

- Q9 移住先に求めるもの
- Q10 移住先での仕事
- Q11 移住相談相手
- Q12 移住参考情報
- Q13 移住検討時の不安
- Q14 ツアー参加目的
- Q15 移住開始希望時期
- Q16 希望ツアー内容

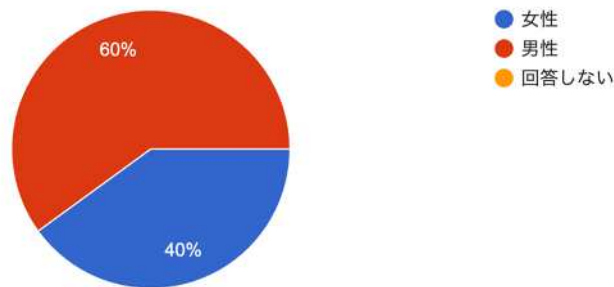
- Q17 移住したい気持ちの変化 (1)
- Q18 ツアー評価
- Q19 ツアーガイド評価
- Q20 ツアーで得られた情報評価
- Q21 移住したい気持ちの変化 (2)
- Q22 希望する移住者支援
- Q23 モニターツアー感想

調査項目ごとのアンケートの集計結果は、以下のとおり。

Q1: モニターツアーの参加者のうち6割が男性、4割が女性であった。

Q1. 性別

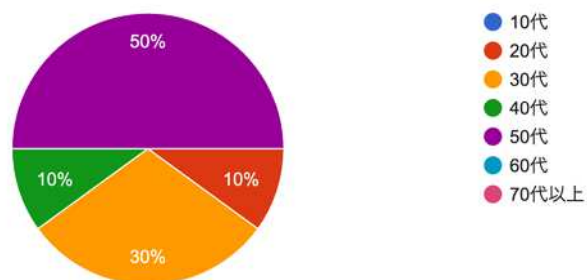
10件の回答



Q2: モニターツアーの参加者のうち半数が50代で最も多く、3割が30代、20代と40代がそれぞれ1割であった。

Q2. 年齢

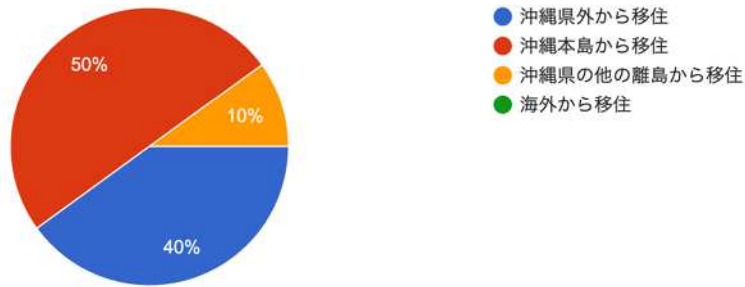
10件の回答



Q3: 本島からの移住を検討中が5割、県外からの移住を検討中が4割、他の離島からの移住を検討中が1割であった。

Q3. どちらから沖縄への移住を検討中ですか？

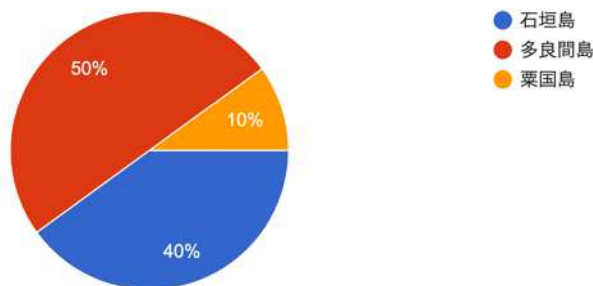
10件の回答



Q4: 5名が多良間、4名が石垣市、1名が粟国島のツアーへの参加者であった。

Q4. どの地域のモニターツアーに参加しましたか？

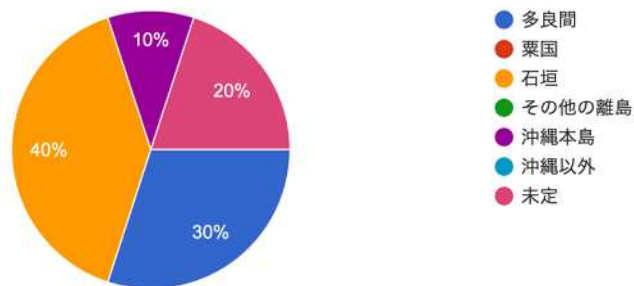
10件の回答



Q5: 移住候補先で最も多いのは石垣市で4割、多良間島が3割、粟国島が1割で、未定が2割であった。

Q5. 移住（ないし二地域居住）の候補地を教えてください。（複数回答可）

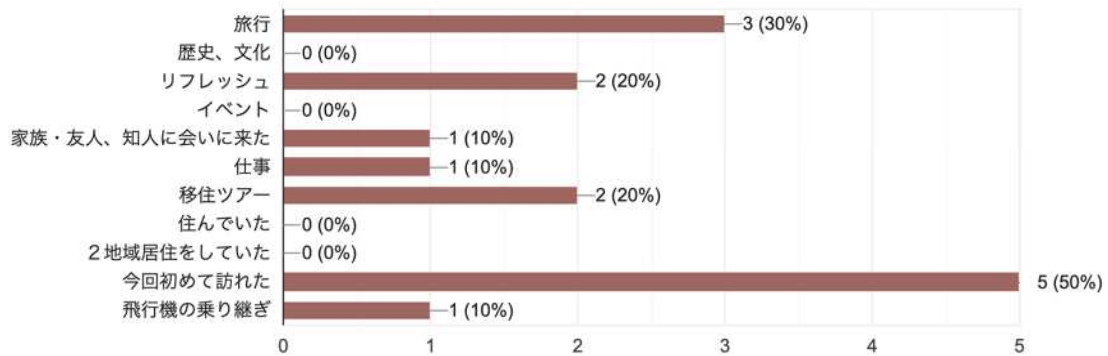
10件の回答



Q6: 各離島の訪問が始めての人が5割であるが、3割の人が以前旅行で訪問した経験があった。

Q6. 以前は、どのような目的でこの地域に訪れましたか？（複数回答可）

10件の回答



Q7: 該当者はいなかった。

Q7. Q6で「2地域居住をしていた」を選択した方のみ理由をお聞かせください。（複数回答可）

自然	0
健康	0
伝統文化・産業	0
スポーツ	0
帰省	0
親族の介護	0
転地療養・リハビリ療養	0
高齢者福祉施設利用	0
学校の教育活動	0
合宿・企業研修	0
期間を定めた就労	0
都市住民が地方に仕事場としての拠点を所有し、主に就労の場として利用	0
都市住民が地方に別荘を所有し、週末や休暇時に避暑・避寒等で利用	0
都市住民が地方にも住宅を利用し、仕事以外で日常的に利用	0

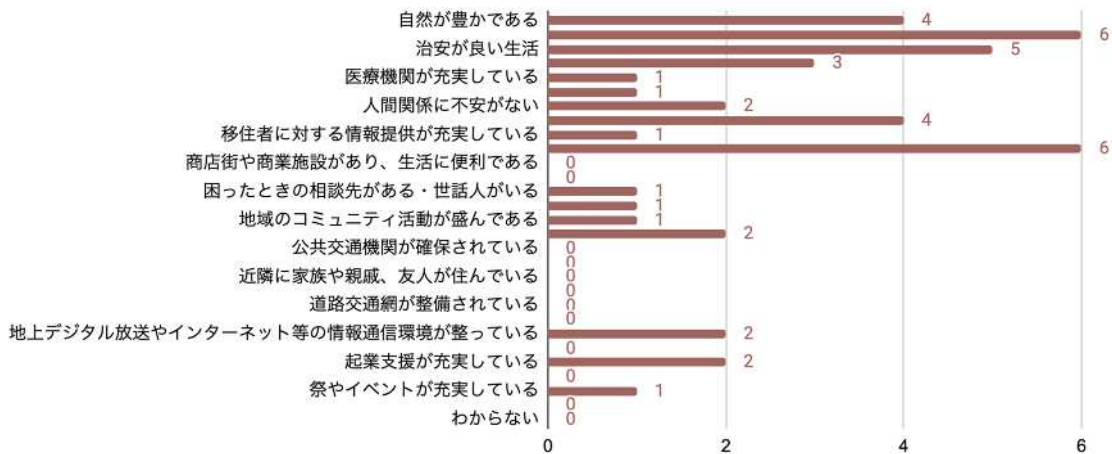
Q8: 当該地域への移住を求めている理由として、スローライフが8割と最も多く、健康的な生活がそれに続いて多く（5割）、「自然環境が豊富」および「老後を過ごす」が続いて多い（4割）。

Q8. この地域を選んだ理由を選んでください。（複数回答可）



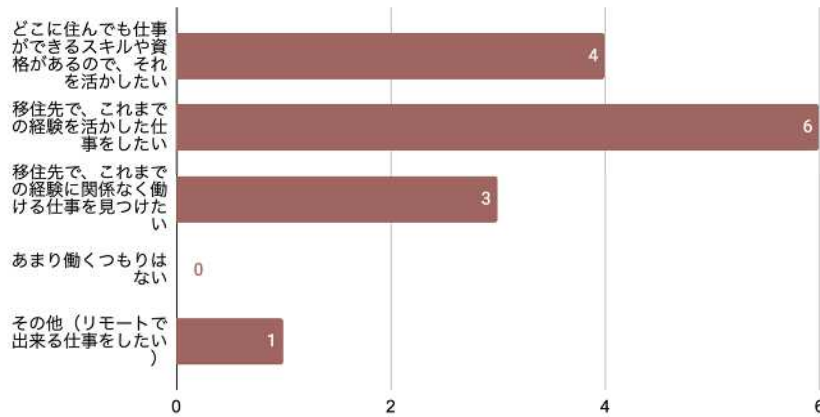
Q9: 移住先に求めるものとしては、「食べ物・水、空気」と「住居に関する支援」がいずれも6割と多い。

Q9. 移住先に何を求めますか？重要なもの上位5つまで選んで下さい。



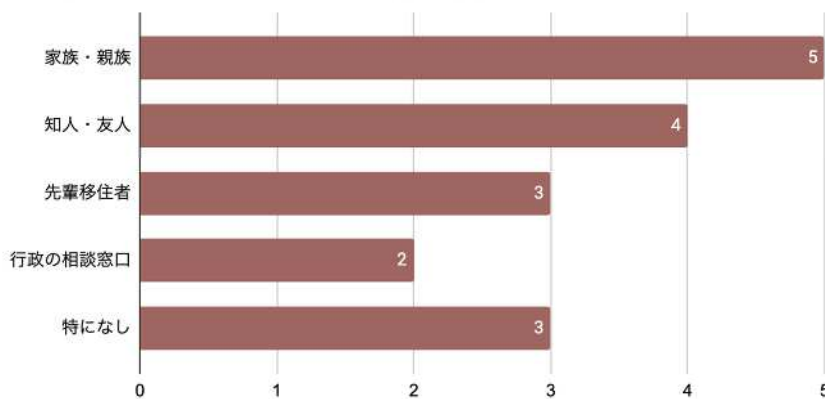
Q10: 移住先での仕事については、これまでの経験を生かした仕事をしたいケースが最も多く（6割）、スキルや資格を活かした仕事を望むケースも多い（4割）。

Q10.  
移住した先での仕事について教えてください。（複数回答可）



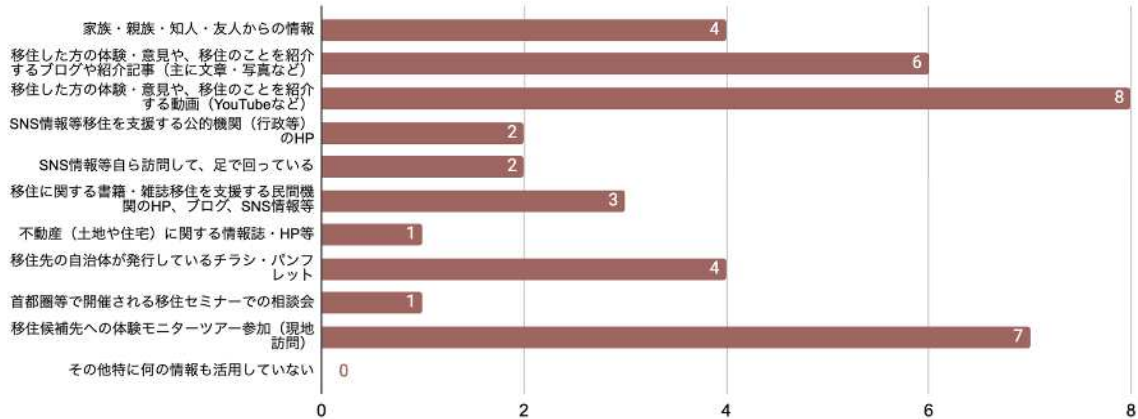
Q11: 移住を相談する相手としては、家族・親族が最も多く（5割）、知人・友人がそれに続いて多い（4割）。

Q11.  
移住しようか、どうしようか考えている時に、どなたかに相談したり、意見を求めたりしましたか？（複数回答可）



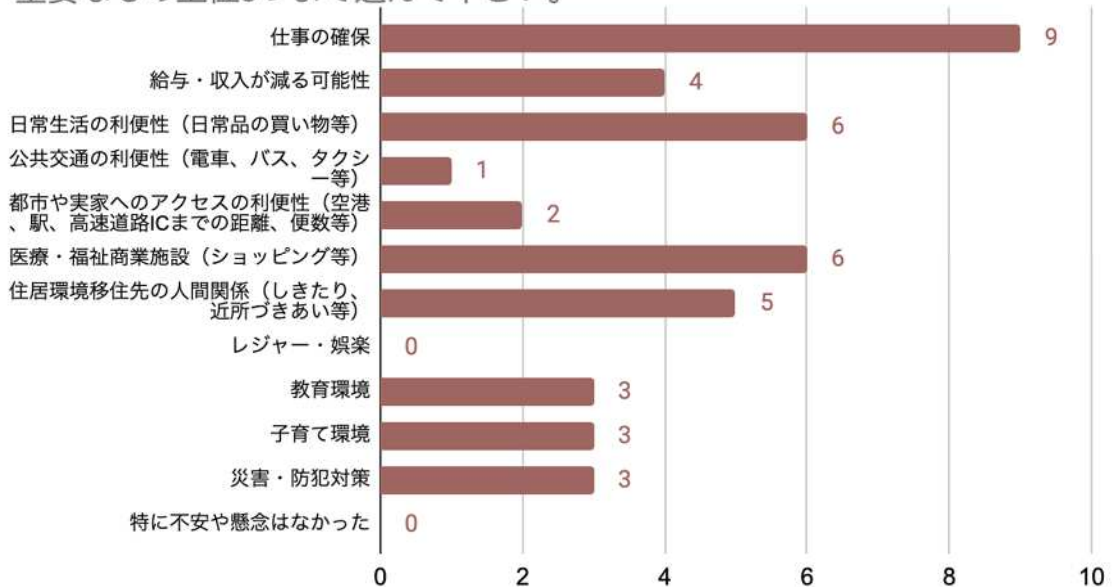
Q12: 移住しようか検討中の際に、先輩移住者の体験や意見を求めているケースが最も多く、モニターツアーに対する関心も強く表れた。

Q12. 移住しようか、どうしようか考えている時に、どのような情報源が頼りになりましたか？重要なもの上位5つまで選んで下さい。



Q13: 移住の際の最大の不安は、「仕事の確保」（9割）で、「日常生活の利便性」（6割）、「医療・福祉」（6割）がそれに続いて多い。

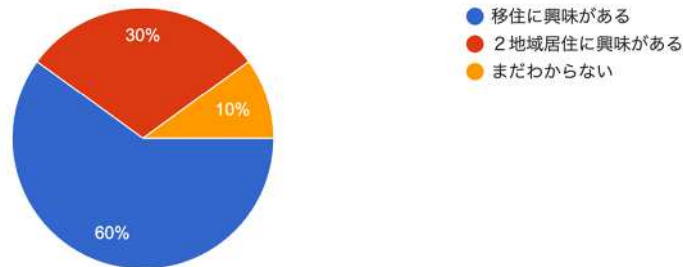
Q13. 実際に移住をするとなると、どのような点に不安・心配を感じますか？重要なもの上位5つまで選んで下さい。



Q14: モニターツアーの参加目的は、定住型の移住が6割、2地域居住が3割であった。

Q14. ツアー参加の目的を選んでください。

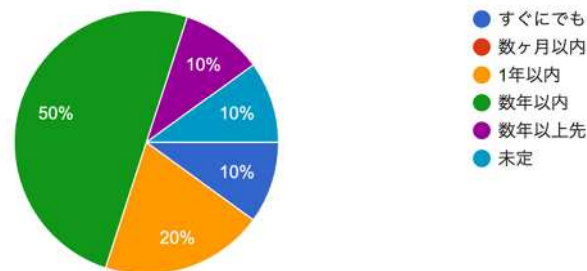
10件の回答



Q15: 移住を開始したい時期は「数年以内」(5割)が最も多く、「1年以内」(2割)がそれに続いて多かった。

15. 移住 (ないし2地域居住) を開始したい時期を教えてください。

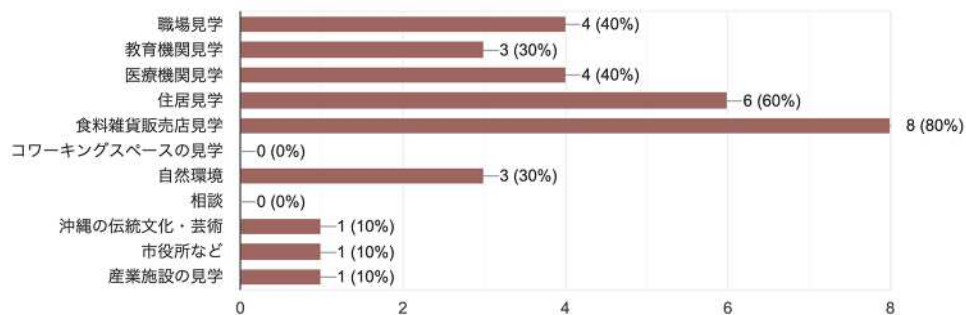
10件の回答



Q16: 希望したモニターツアーの訪問先として、「衣料雑貨販売店見学」(8割)が最も多く、「住居」(6割)、「職場見学」(4割)と「医療機関見学」(4割)がそれに続いて多い。

Q16. どのようなオーダーメイドを希望しましたか？(複数回答可)

10件の回答

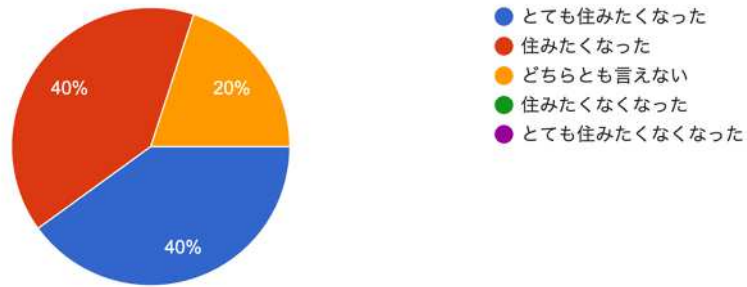




Q17: モニターツアーに参加して、定住または2拠点居住をしてみたくなくなったケースが8割を占めた。

Q17. ツアーに参加して、定住または2地域居住してみたいと思いませんか？

10件の回答



Q18: モニターツアーの参加者全員が参加して「とても良かった」(10割)と感じた。

Q18. モニターツアーに参加してみて、良かったと思いますか？

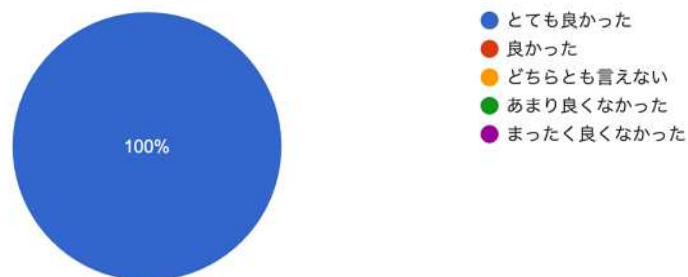
10件の回答



Q19: ツアーガイドの説明は、参加者全員が「とても良かった」(10割)と感じた。

Q19. ツアーガイドの方の説明は、良かったと思いますか？

10件の回答



Q20: ツアーで得られた情報について、参加者全員が「とても満足」(10割)と感じた。

Q20. ツアーの訪問先で得られた情報に満足していますか？

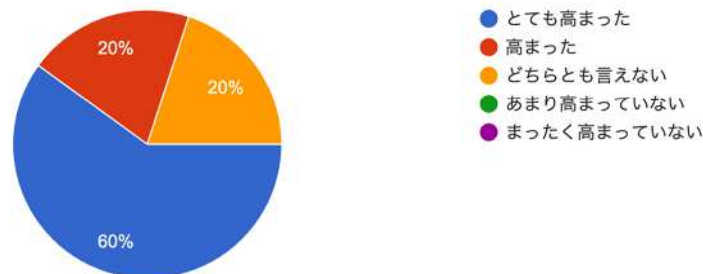
10件の回答



Q21: 今回のツアーで移住(ないし2拠点居住)したい気持ちが「とても高まった」(6割)ケースと「高まった」(2割)ケースを合わせて8割の参加者が移住への気持ちの高まりを示した。

Q21. 今回のツアーで移住(ないし2地域居住)したい気持ちが高まりましたか？

10件の回答



Q22 は、自由回答形式で、求める移住支援についての意見を求めた。得られた意見は、以下のとおり。

Q22. 県や離島の自治体による、どのような移住者支援があると良いですか？

ご自由にお答え下さい。

- 基本的に、衣食住のためには働かなければならないと考えます。それ故に、入口として、まずどのように働きたいか、自分のスキルだけで良いか、保有スキル+現地の副業か、移住先で全く新しい仕事に就くか(雇われるか、雇われないか)など、目指す働き方のパターンごとに支援内容が整理されているとありがたい気がします。(なお、次の質問でも少し触れています。)

- 住居の支援それとも土地と物件購入の支援がいいと思います。さらに、仕事と事業設立の支援がありましたら十分と思います。支援というのはノウハウはもちろん、ローンの制度とかありましたらいいなと思います。また、やはりコミュニティーと絆を作るは大事になりますので、色々な活動に参加させてくれたら、なんとか住みやすくなります。
- 土地を購入するサポートが必要です。また、事業を設立するサポートが必要だと思います。
- 就職先の斡旋、生活が落ち着くまでの金銭支援、住居の斡旋
- 住居を決めるまでの一時居住地確保など…
- 他の仕事と兼務できる制度
- 住居確保の為の支援
- 住宅支援、仕事支援
- 仕事の紹介
- 就職

Q23 は、自由回答形式で、モニターツアーについての感想を求めた。得られた意見は、以下のとおり。

Q23. 今回のモニターツアーについて、どのように感じましたか？

率直なご感想をお聞かせ下さい。

- ネットや記事など既存情報だけでは知り得なかったたくさんの新発見や魅力に接することができました。これは現地でのモニター体験ならではだったと思います。ありがとうございました。ただし、少し慌ただしかったかもしれません。最低限一泊して朝から晩までの人の営みや自然、環境の変化も含めて体感した（感覚を寝かせた）方が、良否の本質を俯瞰的に評価できそうかと感じました。特に自然が豊かな地域では、そこに長く住めるか否かの判断は、天候状態にも依存されるように思います。また、アンケートの質問項目にもあった通り、離島に移住するには、居住地域に影響されない知識やスキルも重要ファクターだと考えます。例えばインターネットを活用したりモトワークしかり。環境に左右されにくい堅牢な通信網の担保や支援もネックになり得ると感じました。移住者開拓のためには、ターゲットを絞ったアプローチ、つまり、例えば「〇〇業を生業とする人が移り住みやすい町づくり」のように特化してみるのもあり？ではないかと思いました。ありがとうございました！
- 石垣島での子育てに興味がありました。ガイドしていただいた方は、小学生の子どもさんがいる方だったので、こちらでの子どもの日常を聞き、実際に現地の小・中学校に足を運べてとても参考になりました。伊野田小学校には、中を案内していただ

きました。とてもよい環境で学び、地域の方々と協力しながら子育てをされていると感じました。また、自然の中で暮らす環境の素晴らしさが分かりました。沖縄の伝統文化の組踊の映画は面白く、今まで知らなかった沖縄の文化を知ることが出来ました。沖縄は内地とは違い、独特の歴史の中で作られた文化を、現地で観るという体験ができたのがとても良かったです。図書館にも寄っていただき、借りた本は学校でも返せると聞きました。1日車でガイドをしていただき、観光では分からない石垣島の生活事情等を体験できて、とても良かったです。本当にありがとうございました。

- 地元を良く知っているガイドに案内してくれてよかったです。しかも同年代の方でとても楽しく話ができていると思います。島の魅了を印象に残りました。多良間島はとても文化と自然が面白くて、人が歓迎の気持ちであるとわかって、移住したくなりました。移住を考慮する人にとって不安が多いと思いますが、実際に行ってみて、話を聞いたら、色々安心できると思います。そのためモニターツアーはとてもいい事業だと思います。どうもありがとうございました。
- 初めて訪れた場所の生活様式や歴史を知ることが出来た。また、実際に移住した方の話を聞いた際に、移住者が住居を確保する事が難しいことや引越しを受けてくれる業者が少ないなど離島にまつわる大変さを聞くことが出来た。今後移住を考える上で、大変参考になった。ガイドの方は、地元の方なので、大変参考になった。
- 実際に住んでいらっしゃる方のガイドでしたので、住んでいる生の声や体験を聞くことができて、画面上で見るとよりも詳しくかつ、画面上では得られない情報などを聞くことができました。移住を検討するにあたっての不安面も相談することができ、とても有意義な時間でした。
- 現地事情、情報をガイドさん、実際に移住された方に直接お伺いできた事で、移住について改めて考えるべき事がいくつか見分かりました。今までは、考えが少し甘かったようです。特に住居問題は、大きな壁だと思いました。
- 楽しかったです。ガイドはいろんな質問が答えてくれました。お世話になりました。たくさん見ました。良かったです。どうもありがとうございます。^\_^
- 凄く楽しかったです。インターネットでは得られない情報をたくさん教えて頂きました。ガイドさんが優しく丁寧でした。
- 地域課題を地元の方と解決できる喜びを経験してみたいと感じた
- 行きたい所に連れて行ってきて参考になりました。

以上のように、モニターツアーへの参加者からの評価としては、以下の点を指摘できる。

- モニターツアーの参加者は、モニターツアーで得られた情報、ガイドおよび訪問先について、極めて肯定的に捉えており、極めて満足度の高いモニターツアーを提供することができた。

- モニターツアーに参加することで、移住および2拠点居住をしたい気持ちが大いに（8割方）高まったことが確認できた。

### 9.3 ワークショップ評価

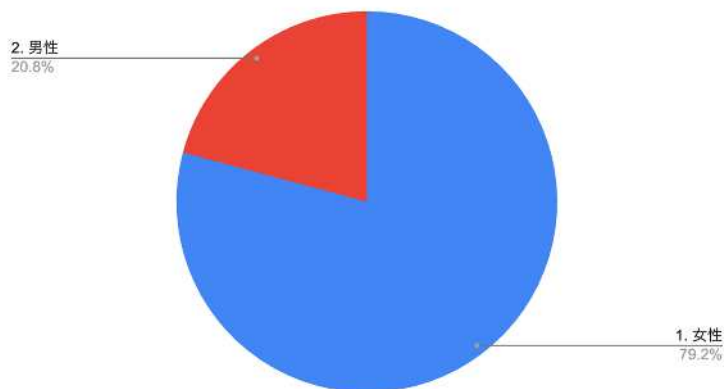
第8章で報告した「関係人口等とのワークショップ等の開催」について、ワークショップ参加者を対象としたアンケート調査を実施した。アンケートの実施要領は、以下のとおり。

- 回答者：ワークショップ参加者
- 回収サンプル数：24（うち、多良間島ワークショップ10、石垣島ワークショップ9、粟国島ワークショップ5）
- 調査実施時期：ワークショップ（2024年2月18日）終了直後
- 調査項目：
  - Q1 性別
  - Q2 年齢
  - Q3 移住検討中状況
  - Q4 検討中移住形態
  - Q5 ワークショップセッションごと感想
  - Q6 移住に関する悩み
  - Q7 ワークショップ認知経路
  - Q8 今後取り上げて欲しいテーマ

調査項目ごとのアンケートの集計結果は、以下のとおり。

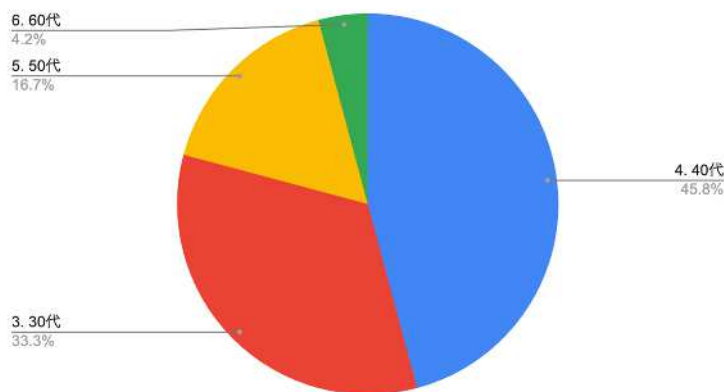
Q1 アンケート回答者の性別は、男性（20.8%）より、女性の割合（79.2%）が多い。

1. 性別



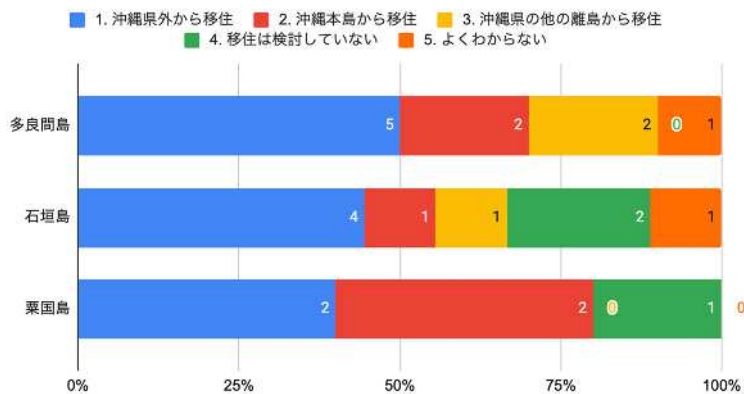
Q2 アンケート回答者の年齢は、40代（45.8%）が最も多く、30代（33.3%）、50代（16.7%）がそれに続いて多い。

2. 年齢

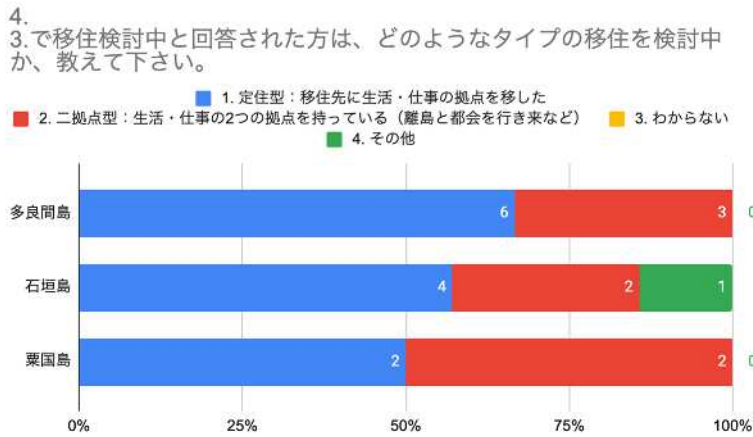


Q3 3つの地域のワークショップのいずれにおいても、県外からの移住を検討中の割合が多い（多良間 50.0%、石垣 44.4%、粟国島 40.0%）。

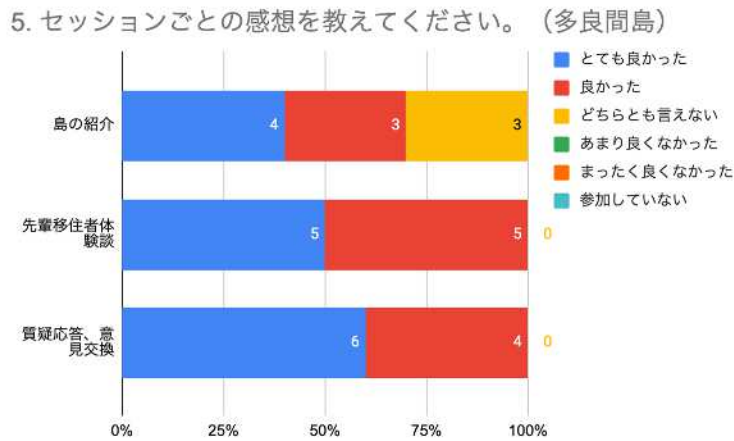
3. 沖縄への移住を検討中ですか？



Q4 3つの地域のワークショップのいずれにおいても、定住型移住の割合が多い（多良間 66.6%、石垣 57.1%、粟国島 50.0%）が、2拠点居住を検討中のケースも一定割合いる（多良間 33.3%、石垣 28.5%、粟国島 50.0%）

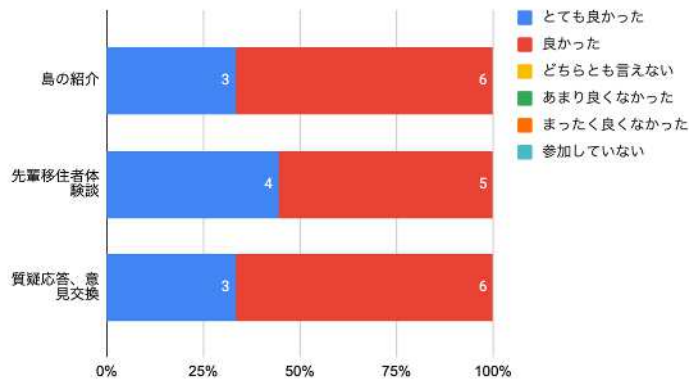


Q5-1 多良間島ワークショップにおけるセッションごとの感想としては、「先輩移住者体験談」と「質疑応答、意見交換」に高い評価がなされている。「島の紹介」についても肯定的な感想が多い。



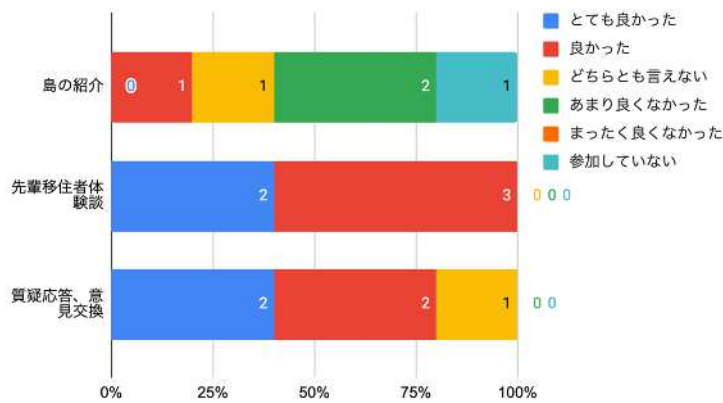
Q5-2 石垣市ワークショップにおけるセッションごとの感想としては、「島の紹介」「先輩移住者体験談」「質疑応答、意見交換」の全てに高い評価がなされた（肯定的意見 10 割）。

5. セッションごとの感想を教えてください。（石垣島）



Q5-3 粟国島ワークショップにおけるセッションごとの感想としては、「先輩移住者体験談」（肯定 10 割）と「質疑応答、意見交換」（肯定 8 割）に高い評価が示された。

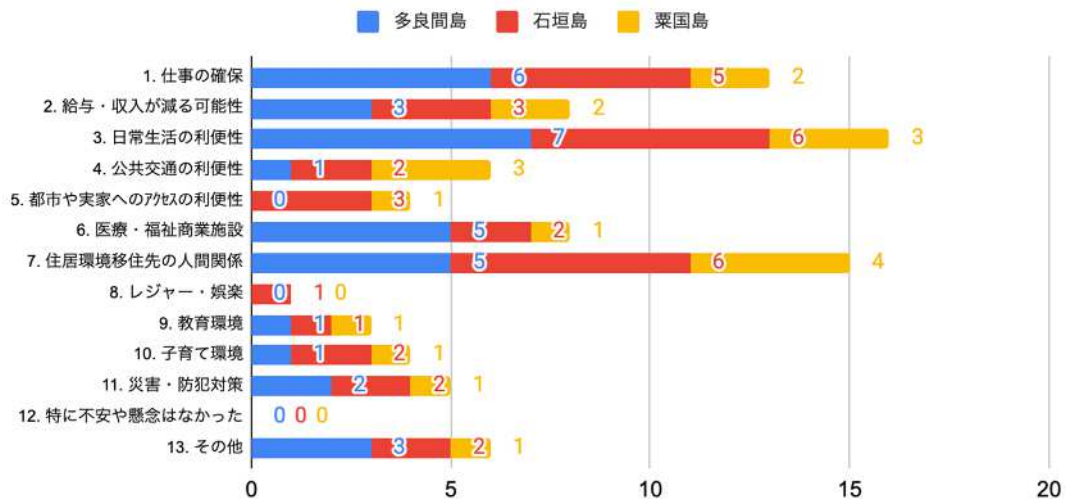
5. セッションごとの感想を教えてください。（粟国島）





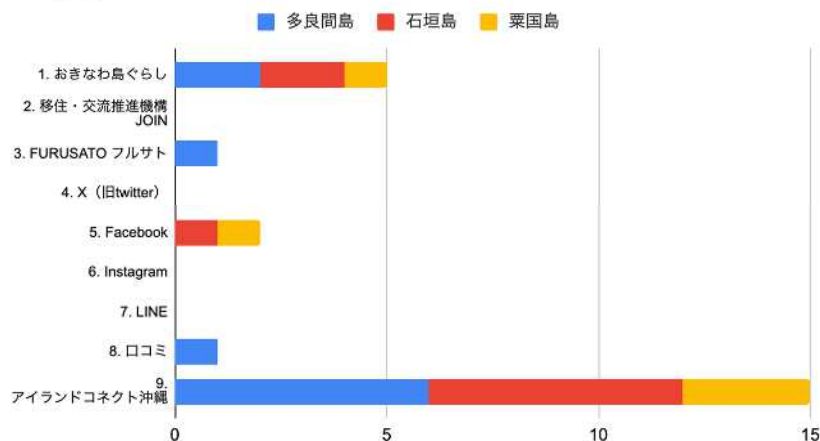
Q6 移住に関してセミナー前に抱えていた悩みや課題としては、移住先の「日常生活の利便性」と「移住先での人間関係」に多くの回答者が危惧している様子が示された。

6. 移住に関して、セミナーに参加する前に抱えていた悩みや課題があれば教えてください。



Q7 ワークショップの認知経路を調べたところ、「アイランドコネクト沖縄」が最も多く、続いて「おきなわ島ぐらし」が多い。少数ではあるが、Facebook や FURUSATO 経由、または口コミで情報を得たケースも確認された。

7. 今回のワークショップをどこで知りましたか？



※アイランドコネクト沖縄とは、沖縄県の離島住民を対象としたテレワーク人材育成とその就労環境構築をするプラットフォーム(離島テレワーク人材育成補助事業、離島 ICT 利活用人材等高度化補助事業にて沖縄県から補助を受けている)。その登録テレワーカーにワ

ークショップの周知をおこなった。

Q8 は、自由回答形式で、ワークショップで今後取り上げて欲しいテーマについて意見を求めた。得られた意見は、以下のとおり。

8. 今回のようなワークショップで、今後取り上げて欲しいテーマがあれば教えて下さい。

<多良間島>

- 地域おこし協力隊になれる人は数に限りがあり、期間限定とはいえ給与や福利厚生は準公務員並みであると思いますので、できましたら農業や牧畜などの地域に根ざした職業に従事している移住者の方の生の話を聞きたいと思いました。

- シリーズとして毎回テーマを変えてテーマを深掘した内容の提供

例：衣食住、仕事など

- 既に実施済みかもしれませんがその他離島や本島への移住希望者向けのワークショップも需要があると思いました。また、特定の職種に絞った内容だとより密なワークショップになると思いました。

- 色々な離島の仕事紹介をしてほしい。

- 移住者の方数名での座談会（zoom 参加者が質問、参加できる形式）

実際に移住して良い面だけでなく、悪い面もざっくばらんに話せる内容。

- 2拠点生活をしている方の住民との関わり方。

<石垣島>

- 子育て世帯の本音、お試し移住体験、地域との関わりの様子

- 2年目から冬が寒くなる。ヤモリが多い。湿度が高い。など移住してからでないといけないことが聞いてよかったです。住んでみて知ることや文化の違いなどもっと知りたくなりました。石垣は本島とはまた違う文化や生活環境があるんだなと感じました。このワークショップに参加できてよかったです。

- 移住者同士のつながり

- 離島への観光に興味があるが、島ごとの特徴や移動手段、見どころやおすすめのプラン、旅費の目安、宿泊施設の紹介などをしてくれるワークショップがあったらぜひ参加したい。

- 今日はありがとうございました。具体的に考えられる機会でした。途中から参加したもので、始めの部分があまり聞けず残念でした。もしその内容が沖縄島ぐらして見られたらうれしいです。

- 色々な離島の会社の紹介をして頂きたい。

- ①自然災害対策について(とくに台風対策) ②内地や本島との交通ルールの違いについて ③生活インフラにおける各種設備について

## &lt;粟国島&gt;

- 今後取り上げてほしいテーマは思いつきませんでした。
- 生活の様子はわかりやすかったのですが不動産がないところでの住居探しの様子や仕事探しのことを詳しく知りたかったです。その辺を具体的に掘り下げたワークショップなどがあれば参加して参考にしたいです。
- 住むところの探し方、見つかる見込みが詳しく分かると良いと思います。
- 働き盛りの人たちの生活
- 離島で二拠点居住している方がいれば話を聞いてみたいです。

以上のように、ワークショップへの参加者からの評価としては、以下の点を指摘できる。

- ワークショップの参加者は、先輩移住者からの説明で得られた情報と、意見交換セッションで得られた情報について、極めて肯定的に捉えており、満足度の高いワークショップを提供することができた。
- 離島自治体からのお知らせのセッションについては、経験豊富な移住コーディネーターの方による説明の場合を除いて、肯定的な反応が相対的に少なく、課題が残った。
- モニターツアーに参加することで得られるような情報を、ワークショップにおいても紹介して欲しいという意見があり、今後の課題として受けとめるべきであろう。

## 9.4 チャット相談員評価

第7章で報告した「先輩移住者を活用した、相談・受入体制の構築」について、チャット相談の個票を検査し、離島・過疎地域への移住先での関心事である「生活」「仕事」「余暇」の 카테고리ごとの相談状況を整理した。相談状況の結果は、以下のとおり。

地域	相談内容のカテゴリー				
	生活	仕事	余暇	治安・災害・インフラ	その他
多良間島	5	1	2	1	2
石垣市	4	3		7	
粟国島	3	1		2	

上記の相談状況を取りまとめる際に、当初想定していなかった「治安・災害・インフラ」に関する問合せが多いことがわかり、島外のカテゴリーを追加して、相談内容をカウントした。

以上の相談状況の結果から、以下の点を指摘できる。

- 寄せられた全ての質問に対して、問題無く回答がなされた点で、チャット相談は、

当初の想定どおりに順調に実施された。

- 事前に相談マニュアルを用意し、チャット相談員に対して、事前講習を実施した後にチャット相談を開始したが、治安・災害・インフラに関する回答例などをマニュアルに追加すべきである。

## 9.5 PR 記事・動画の閲覧

第3章「PR 動画の制作・発信」および第4章「2 地域居住先輩体験者記事の作成等」で報告した PR 記事・動画を評価するために、先輩移住者を対象としたアンケート調査を実施した。アンケートの実施要領は、以下のとおり。

- 回答者：県内に住む先輩移住者
- 回収サンプル数：
  - <2 地域居住先輩体験者記事> サンプル数 31
  - <PR 動画> サンプル数 28
- 調査実施時期：2024年2月
- 調査項目：

<2 地域居住先輩体験者記事>

- Q1 名前（省略）
- Q2 性別
- Q3 年代
- Q4-1./5-1./6-1. 移住への関心の変化
- Q4-2./5-2./6-2. 有益な情報を得たか
- Q4-3./5-3./6-3. 不安や悩みの解消
- Q4-4./5-4./6-4. 知りたい情報

<PR 動画>

- Q1 名前（省略）
- Q2 性別
- Q3 年代
- Q4-1./4-2./4-3. 有益な情報を得たか（石垣島）
- Q5-1./5-2./5-3. 有益な情報を得たか（石垣島）
- Q6-1./6-2./6-3. 有益な情報を得たか（伊是名島）
- Q7-1./7-2./7-3. 有益な情報を得たか（大宜味村）
- Q8-1./8-2./8-3. 有益な情報を得たか（多良間島）
- Q9-1./9-2./9-3. 有益な情報を得たか（久米島）
- Q10-1./10-2./10-3. 有益な情報を得たか（粟国島）
- Q4-4./5-4./6-4./7-4./8-4./9-4./10-4 移住したくなったか

Q4-5./5-5./6-5./7-5./8-5./9-5./10-5 移住の不安・悩みの解消

Q4-6./5-6./6-6./7-6./8-6./9-6./10-6 知りたい情報

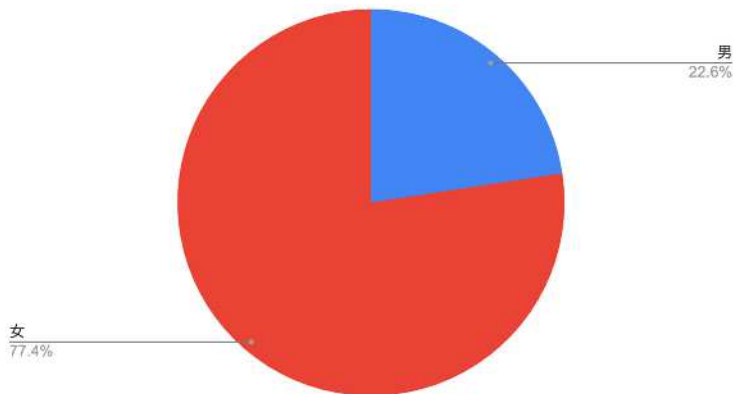
調査項目ごとのアンケートの集計結果は、以下のとおり。

### 9.5.1 2 地域居住先輩体験者記事

Q1. 名前（省略）

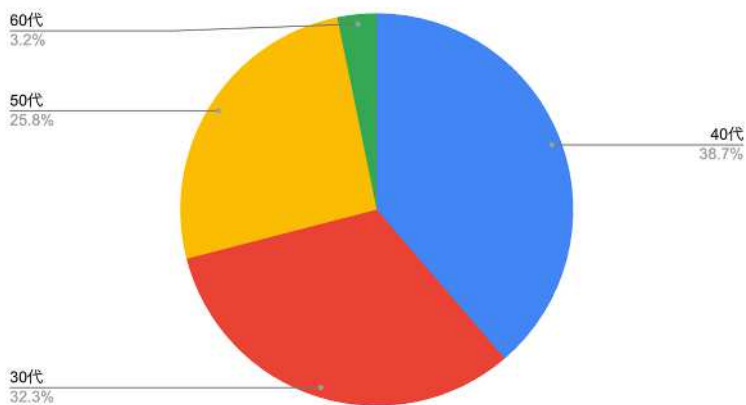
Q2 性別 回答者は女性の方が多い（77.4%）。

#### 2. 性別



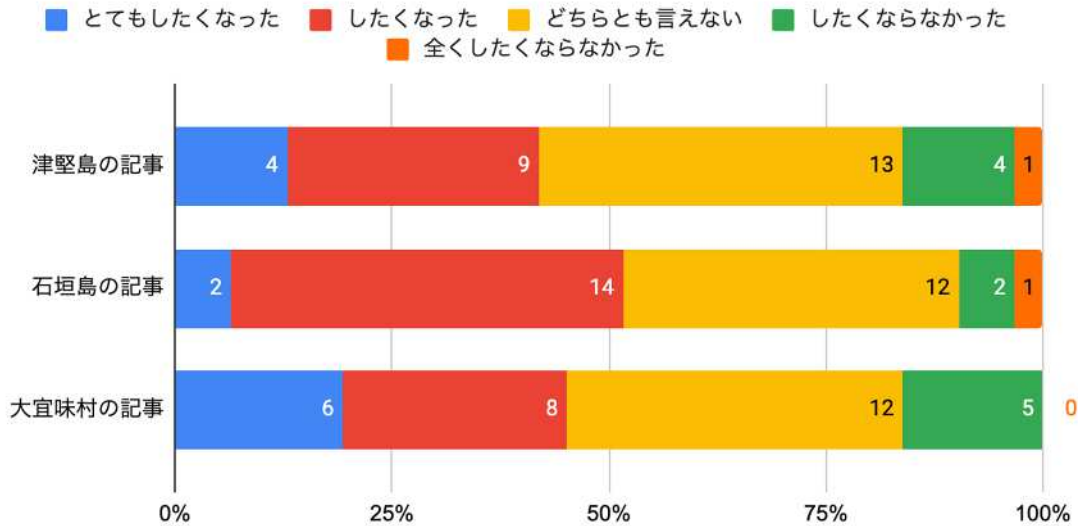
Q3 年代 回答者の年齢は、40代が38.7%、30代が32.3%、50代が25.8%、60代が3.2%である。

#### 3. 年代



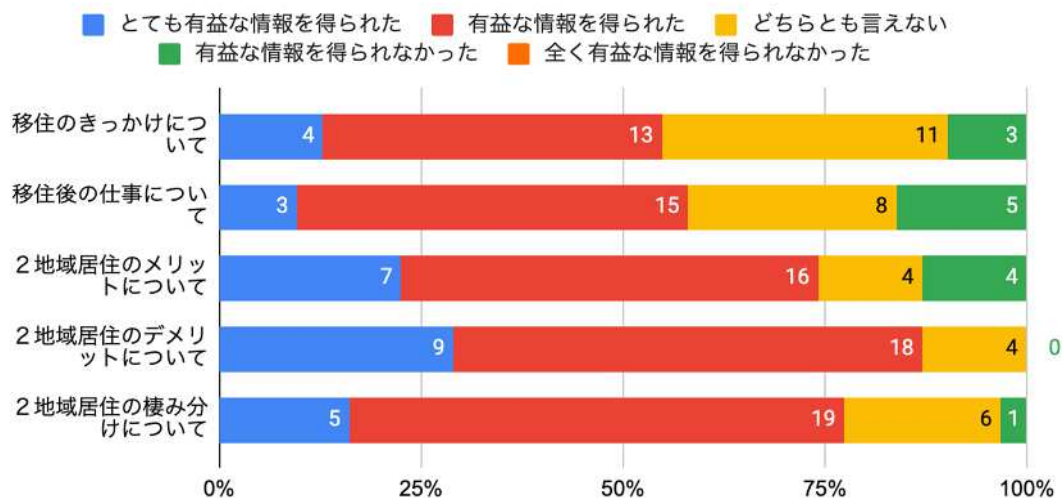
Q4-1./5-1./6-1. 記事を読んで移住への関心が高まったかどうかを調査したところ、津堅島、石垣島、大宜味村のいずれも、半数前後のケースで関心が高まった。

#### 4-1./5-1./6-1 記事を読んで2地域居住をしたくなりましたか？



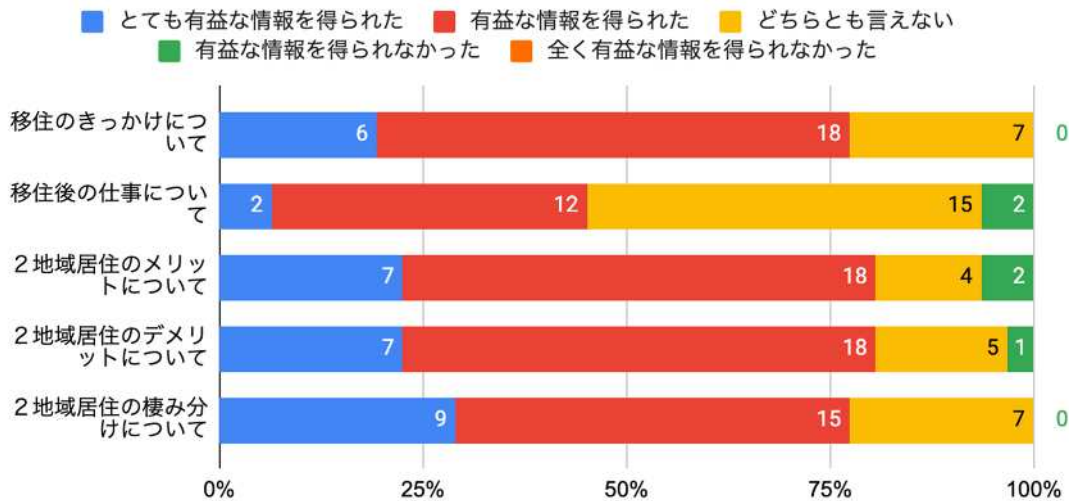
Q4-2. 津堅島に2地域居住するにあたり、有益な情報を得たかどうかを調べたところ、メリット・デメリット・棲み分けに関して特に有益な情報が得られたという回答が多い。

#### 4-2. 2地域居住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？（津堅島の記事）



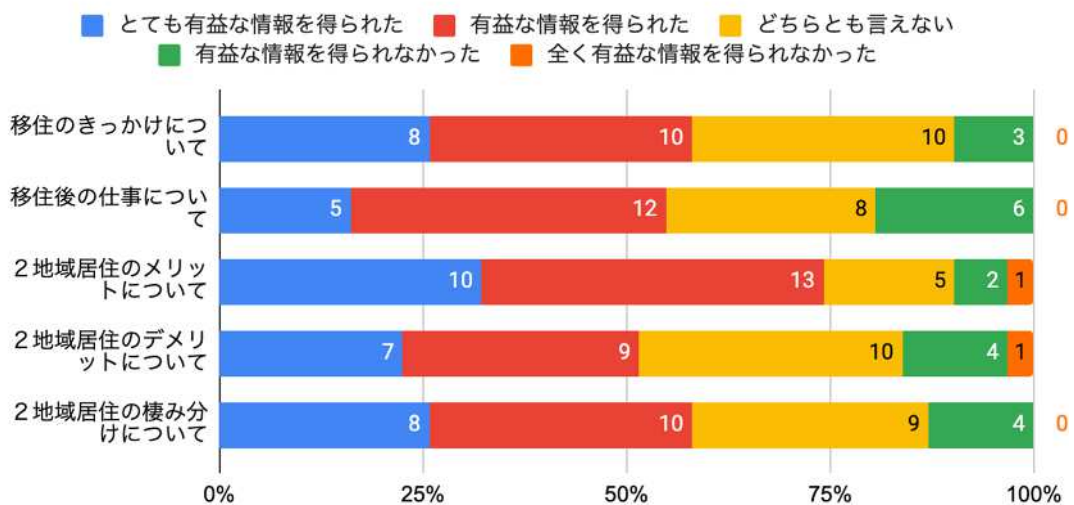
Q5-2. 石垣島に2地域居住するにあたり、有益な情報を得たかどうかを調べたところ、移住のきっかけ・メリット・デメリット・棲み分けに関して特に有益な情報が得られたという回答が多い。

5-2.  
2地域居住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？（石垣島の記事）



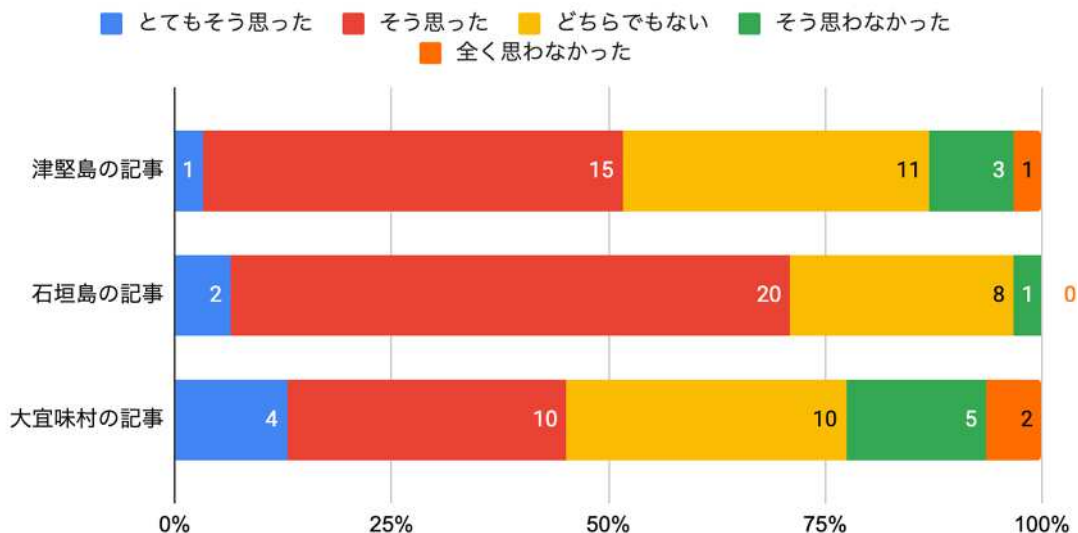
Q6-2. 大宜味村に2地域居住するにあたり、有益な情報を得たかどうかを調べたところ、メリットに関して特に有益な情報が得られたという回答が多い。

6-2.  
2地域居住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？（大宜味村の記事）



Q4-3./5-3/6-3. 2 地域居住するにあたり、石垣島の記事が不安や悩みが解決する内容であるという回答が多かった。

4-3./5-3./6-3.  
2 地域居住を検討する人の不安や悩みが解決する内容でしたか？



Q4-4. 津堅島の記事に書かれている内容以外に、知りたい情報についての意見を求めたところ、以下の意見が寄せられた。

4-4. 書かれている内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。

(津堅島の記事)

- 実際に演奏されている様子がわかる動画の URL が添えられていると良いなと思いました。
- 家賃や仕事の探し方
- 台風の対策ですかね。
- 住民票をどちらにしているのか。またその理由。本島と離島の行政サービスの違いがあれば知りたいと思った。
- この方はご親族のお仕事を継承されたとのことですが今島内で他にどんな働き口働き方があるのかも知りたかったです。
- 知人なども居ない離島暮らしの人の情報(求職や住まい情報)
- 現実的に収入面など2地域居住する困難さがあると思うので、その辺りについて優遇があったりする地域があるのか？など受け入れやすい地域、向いている地域などの情報
- 2拠点の場合、生活費はやはり余分にかかるのかということが気になりました。それはどの部分かわかるとなると良いです。また拠点とする先に、今回の場合は民宿が元々



ありますが、本土から来て拠り所がそもそも全くない場合、2拠点ハードルが高く感じます。

- 非常にハードな日常だと感じたので、息抜きや休みといったゆとりの面を感じられるとよりハードルが下がると思います。
- 家族と一緒に生活しているのか、その家族がどのような気持ちで暮らしているか
- 生活のお金のこと、二拠点でかかる生活費の負担増のカバーはどうしてるのか
- 水光熱費や生活費は2拠点だと1拠点よりどれくらい多くかかるのか
- 今回の記事はメリット、デメリット共にとても参考になった。あと個人的には離島という小さなコミュニティの中で、地域の方々とどのように関わっているのか(行事に参加?役員とか引き受ける?)、もう少し掘り下げた内容があれば良かったのかなと思う。
- 実際のところ、生活が成り立つのか?も、聞きたいところでした。収入がどのくらいで、生活費がどの程度かかるのか?
- どんな仕事があるのか、生活に関わる施設はどのくらいあるのか(商店や診療所など)
- 離島等への移住の前段階として2地域居住という選択肢があること事態がなかなか発想できない選択肢だったので、とても面白いと思いました。
- 自分の持ち味として音楽を発信することや、ボランティアにも関わっている話はとても充実した生活をしているようで輝いて見えました。"
- 誰と生活しているか。収入を1人で得ているのか、家族と得ているのか。
- 島のインフラとか公共設備や学校などの施設についての情報が欲しかったです。
- 2地域生活を始めて身体的にいい方向に変わったことなど。精神的に楽になった、など。
- まず津堅島がどこにあってどういう島かどうかの前置きがあったらいいと感じました。
- 2箇所の家賃が掛かるが、経済的にやっていけてるのか?
- 宿泊者とのエピソード
- 金銭的な負担はどうか?
- この季節は、このためにここにいるとか、夢がある感じを聞きたかった。

Q5-4. 石垣島の記事に書かれている内容以外に、知りたい情報についての意見を求めたところ、以下の意見が寄せられた。

5-4. 書かれている内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。

(石垣島の記事)

- 地域との触れ合いが感じられるような地域行事に参加している様子がわかる写真が添えられていると、より理解が深まると感じました。

- 2 拠点で棲み分けることへの、コスト
- 移住してから子どもに変化があったかどうか。
- 石垣市の北部での暮らしは不便があるということだったのでどの辺が不便なのか詳しく知りたいと思った。
- 住み分けされている方の生活費など金銭面のことを具体的に知りたいです
- 本人以外の家族や周りの人の意見・感想も知りたい
- 含まれていたらよかった内容ではありませんが、劇作家さんということで、収入や仕事の安定ぶりが一般家庭とは少し異なると思うので、やや現実味に欠けると思いました。
- プライバシーに関わることなので難しいとは思いますが、この方の場合具体的な家族構成を教えてもらえた方がメリットデメリット共にイメージしやすいと思います。配偶者の有無、こどもの数や年齢等。
- 石垣島に行きたかった家族は夫か子供か。こどもの年齢。石垣島に大学、専門学校はないがこどもの進学についてはどう考えているか
- 親が留守がちになるので、子供がどう思ってるのか知りたい
- 石垣において、地域の人との関わり方
- この方は幸い移住先に子供のサポート友人がいらっしやったので大阪との2地域を歩き来しながら仕事をする事が出来たが、サポートがない場合は行政サービスのものが利用できるのか、参考までに記載があればもっと良かったのかなあと思った。
- 夢と現実の、現実の部分。行き来に飛行機代も掛かるでしょうし、金銭面でのやりくりは大丈夫なのかが気になりました。
- 子育て世代が移住を考えやすい内容でした。これならできそうと思えました。
- 子供がいる方の2地域居住はインパクトのある内容で面白く読めました。やはり、自分にしか出来ない仕事があるのはとても生活面でも精神的にも余裕になっているように思えました。
- 収入を1人で得ているのか。家族と得ているのか。
- 住人になることで発生するさまざまな問題があると思いますが、楽しいことや良いことばかりではない現実をもう少し掘り下げてほしかったと思います。
- 交通手段について具体的でわかりやすかったです。大阪と沖縄の気候の差について服装などアドバイスや工夫点があればありがたいと思いました。
- 地域住民とのコミュニティなどをどうしているか。
- 子育てにいい環境が整ったということでしたが、具体的にどういうところが良かったのか詳しく知りたいと感じました。
- 大阪にいるときに子どものサポートを友人にお願いしている、とのことだが、それ以外にサポートを頼めるような公的機関や民間機関があるのか？
- 家族構成 お子様は何人いる？パートナーがいて？いなくて？等経済的に成り立つの

か？が知りたい

- 身近にない職業の方なので自分の身に置き換えて考える例にはならなかった。もう少し仕事のイメージがつきやすい方の体験談だとよかったです。仕事で石垣島を離れる際、身内・友人以外にシッターさんとかサービスはあるのか？
- 子どもの話もききたかった。

Q6-4. 大宜味村の記事に書かれている内容以外に、知りたい情報についての意見を求めたところ、以下の意見が寄せられた。

6-4. 書かれている内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。

(大宜味村の記事)

- 今回の2地域居住の方は、沖縄本島内での2地域なので、参考にしやすくイメージもしやすく感じました。やはり2拠点間が船や飛行機での移動が必要となると、踏ん切りをつけるのにかなりの葛藤を感じるかと思いますが、地続きであれば検討しやすいように感じました。森と、海で使い分けが出来るような感じでうらやましい生活をされているように感じられました。
- 3つの記事で一番検討している人に寄り添っていると感じました。いいこと悪いことがはっきり書かれていて助かります。小さな地域は家探しにとっても苦労するので、どうやって家探しの方法も書かれていると検討している人は助かるかなと思いました。
- 二拠点がどちらも沖縄本島の田舎ということで、県外から移住する人にとっては参考にならないと思う。大宜味村の小学校ではなく、本部の小学校に通わせる理由の記載がなく、二拠点生活をする意味が読み取れなかった。
- 2地域で暮らすための資金はどうしているのか？職業短大生、大宜味村と本部町の1日のサイクルを読んでもふわふわしていてどう暮らしているのかさっぱり謎でした。
- 車で20分で移動できる距離なら遠くは感じないのに2拠点で生活しようと思ったことに関して具体的な内容が欲しかった。デメリットの方が多く感じられてしまう。
- 生活費をどうやって稼いでいるのかの具体的な記述と、日々の生活費が大体どのくらいかかるのかといったところが書かれていると非常に有益だと思いました。
- 2拠点が車で20分程度ということもあり、とても現実的だと思った。なぜ、1カ所に絞らず2地域で生活しているのかも納得できる内容だった。
- 配偶者はいるのかどうか。家族がこどものことしか書かれていないので夫と2地域居住したい人にはそこが聞きたいのではないか
- 2拠点の大宜味村の家は、持ち家ですか？2拠点というよりは、自宅と職場のイメージで読んでしまいました。
- かなり田舎の地域の一軒家にお住まいのようだったのでどのように物件を見つけたのか気になりました。

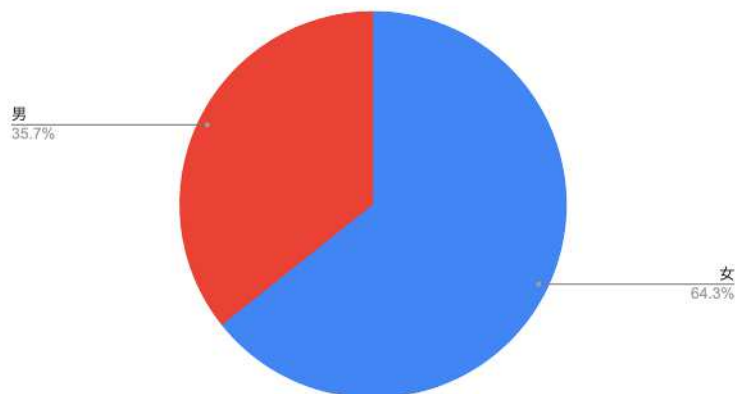
- 東日本大震災を経験して移住しようと思った心境を、もっと掘り下げてみると良いと思いました。
- 海外志向の方のようなのでインターナショナルな視点のお話もお聞きしたいと思いました。
- 本部町でも自然はあるし、民泊もできるのに、なぜあえて大宜味村だったのか？
- 居住地の地元の方との交流やその本音の部分がもう少しあれば良かったです。
- 割と近い似たような場所であったことが意外。子どもの話も聞きたかった！
- やはり金銭面など生活する上で必要なことを具体的に知りたいです
- 子育てについて詳しく書かれておりとても興味深く読めました。
- 経済的な負担をもっと具体的に知りたかった。
- 交通費はどうしてるのかなと思いました
- 内容が一番楽しく読めました。
- 家族の視点
- 特になし

## 9.5.2 PR 動画

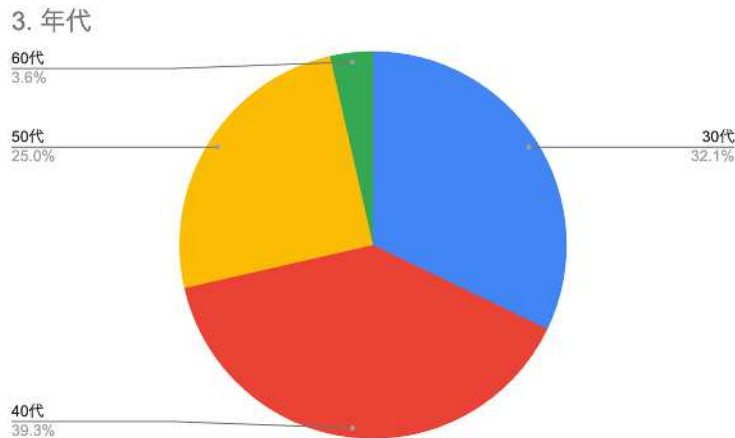
Q1. 名前（省略）

Q2 性別 回答者は、男性（35.7%）、女性（64.3%）の割合である。

### 2. 性別

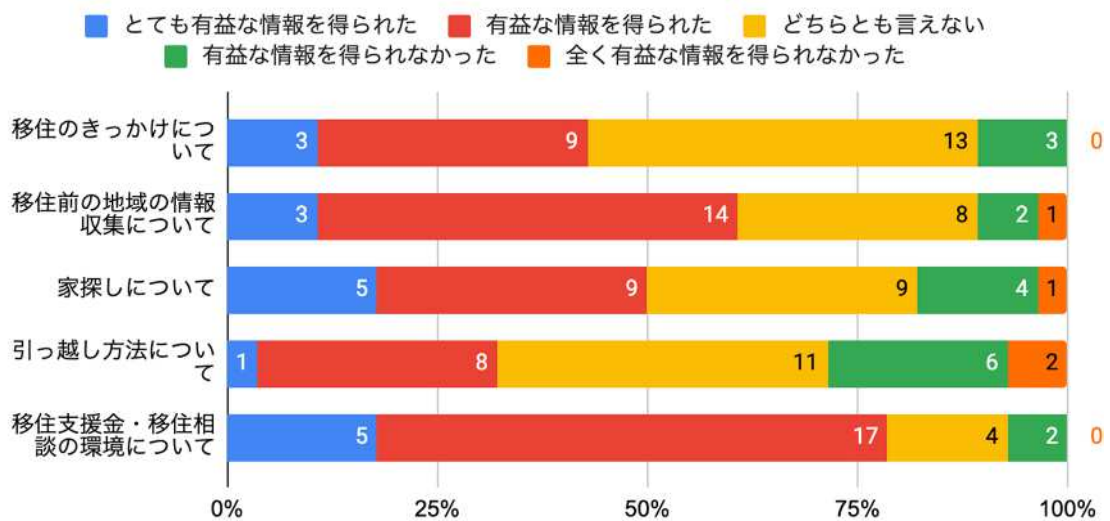


Q3 年代 回答者は40代（39.3%）が最も多く、30代（32.1%）、50代（25.0%）がそれに続き、60代（3.6%）は少ない。



Q4-1. 動画（石垣島①：1本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、支援金・移住相談や、移住前の地域の情報に関して、有益な情報を得られたという回答が多い。

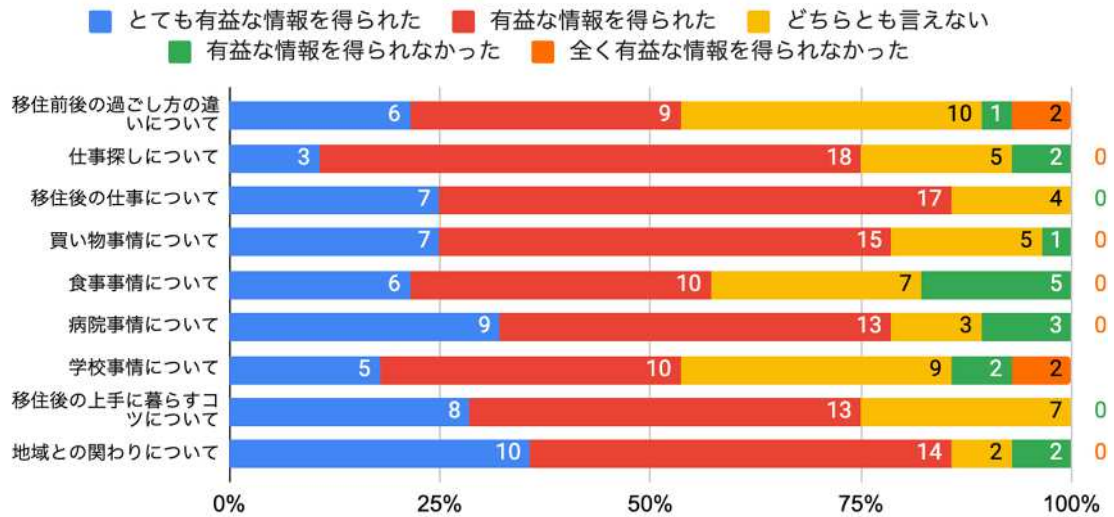
4-1. 石垣島の動画①<1本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



Q4-2. 動画（石垣島①：2本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、移住後の仕事、地域との関わり、買い物や病院、仕事探しや上手に暮らすコツに関して、有益な情報を得られたという回答が多い。

4-2.

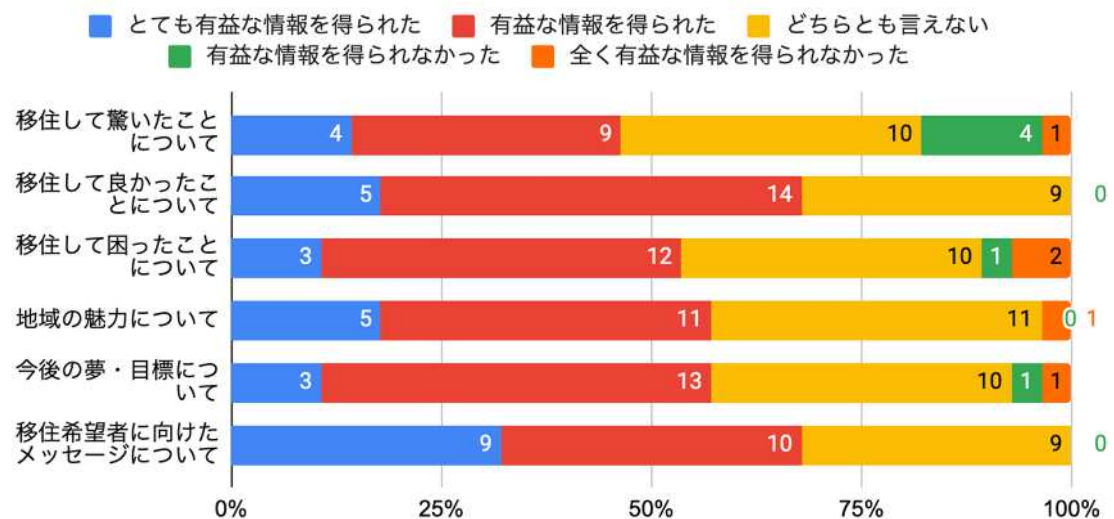
石垣島の動画①<2本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



Q4-3. 動画（石垣島①：3本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、移住してよかったこと、移住希望者向けメッセージについて、有益な情報を得られたという回答が多い。

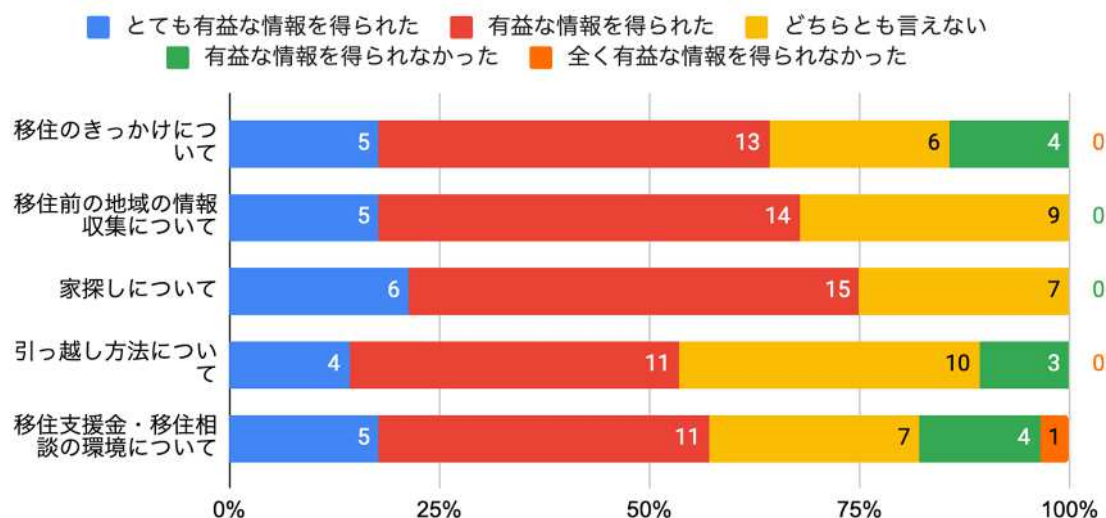
4-3.

石垣島の動画①<3本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



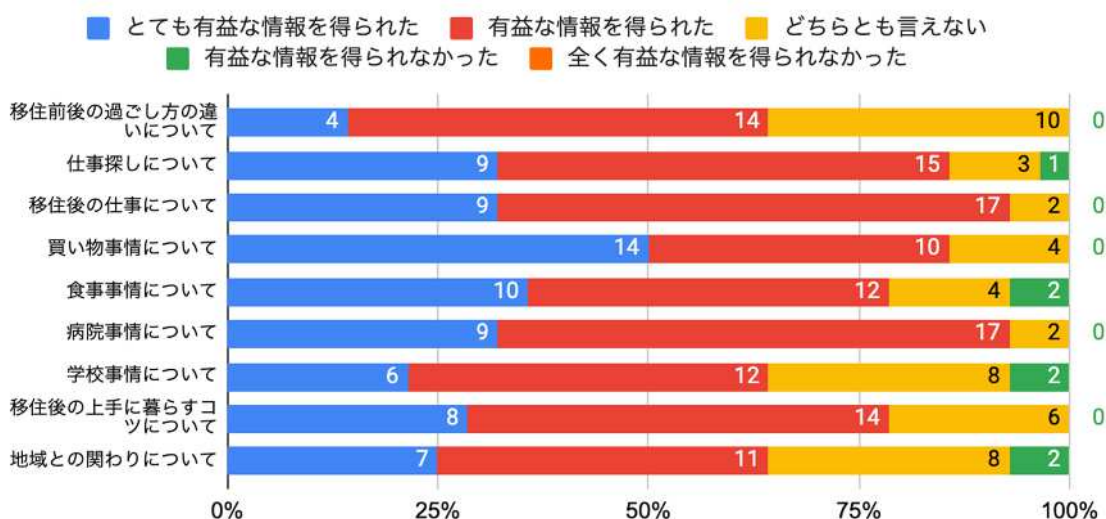
Q5-1. 動画（石垣島②：1本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、移住後の仕事、地域との関わり、買い物や病院、仕事探しや上手に暮らすコツに関して、有益な情報を得られたという回答が多い。

5-1.  
石垣島の動画②<1本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



Q5-2. 動画（石垣島②：2本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、移住後の仕事、病院事情、仕事探しや買い物、食事情や上手に暮らすコツなど、幅広い点に関して有益な情報を得られたという回答が多い。

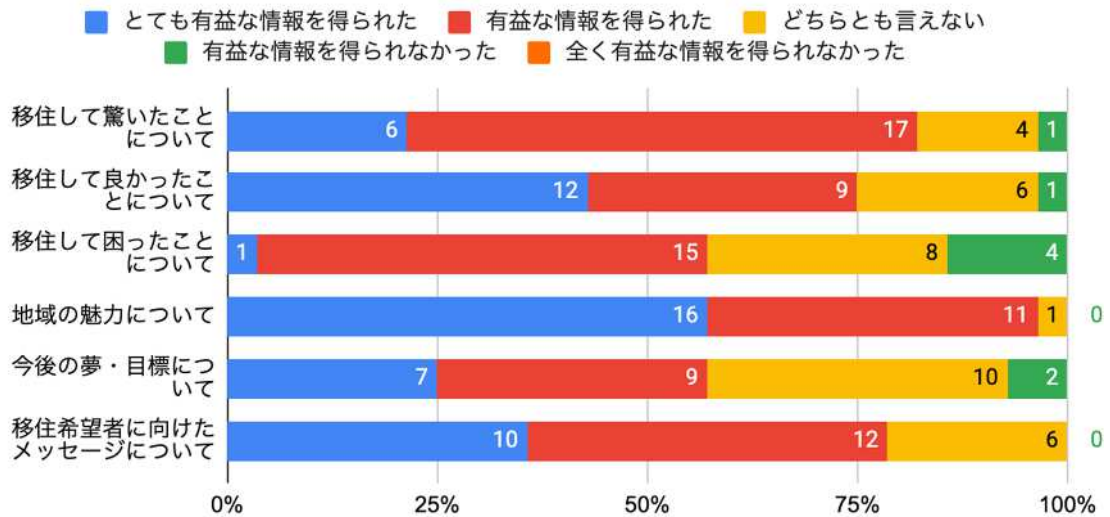
5-2.  
石垣島の動画②<2本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



Q5-3. 動画（石垣島③：3本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、地域の魅力、移住して驚いたこと、移住希望者向けメッセージ、移住してよかったことについて、有益な情報を得られたという回答が多い。

5-3.

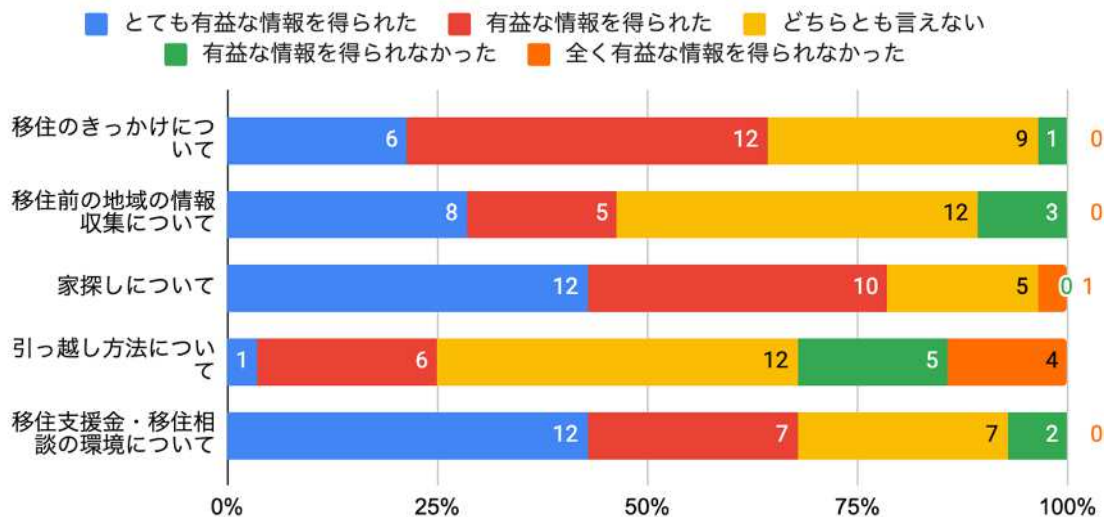
石垣島の動画②<3本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



Q6-1. 動画（伊是名島：1本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、家探し、支援金・移住相談、移住のきっかけに関して、有益な情報を得られたという回答が多い。

6-1.

伊是名島の動画<1本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？

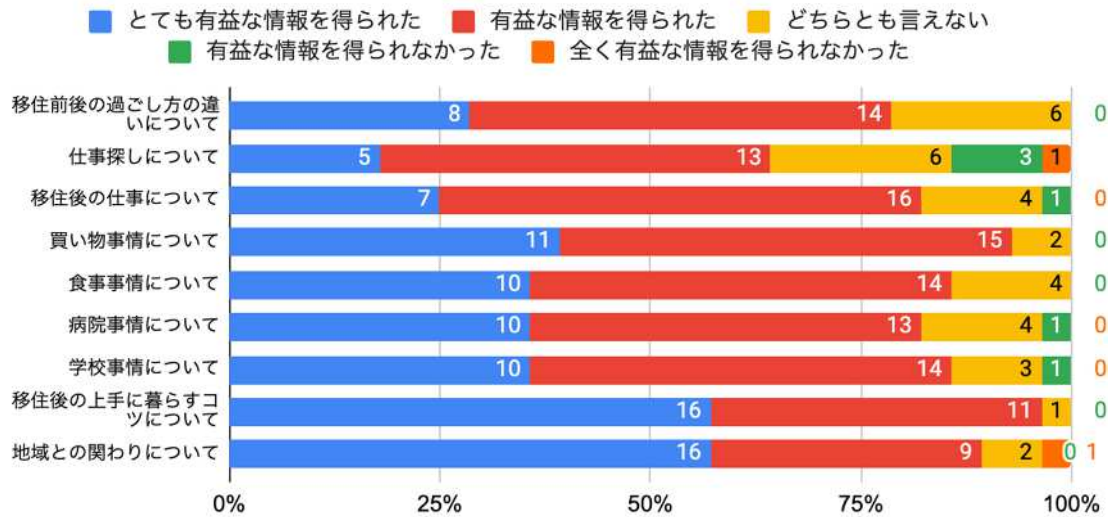


Q6-2. 動画（伊是名島：2本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、ほぼ全ての項目に関して幅広く有益な情報を得られたという回答が多い。



6-2.

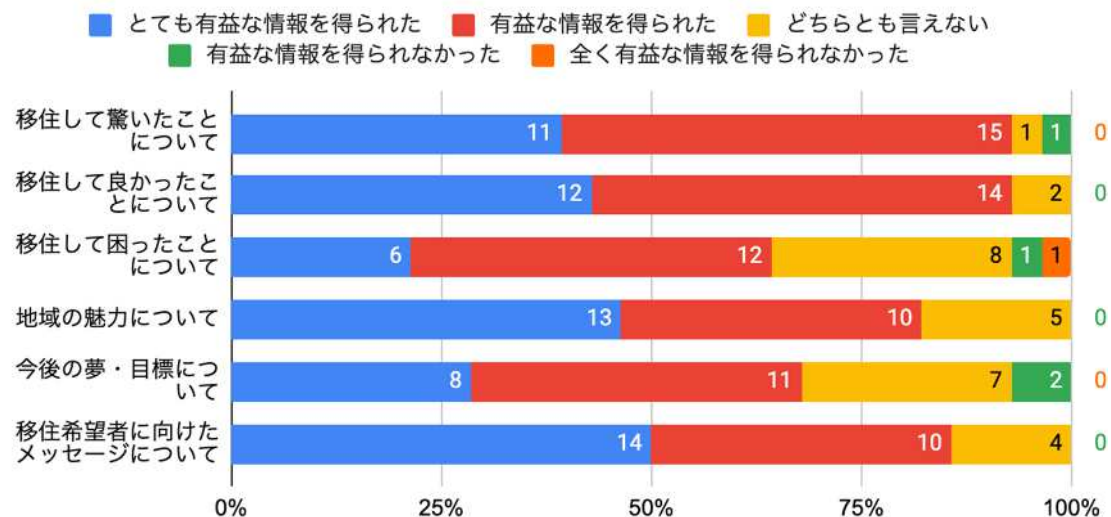
伊是名島の動画<2本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



Q6-3. 動画（伊是名島：3本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、移住して良かったこと、移住して驚いたこと、移住希望者向けメッセージ、地域の魅力について、有益な情報を得られたという回答が多い。

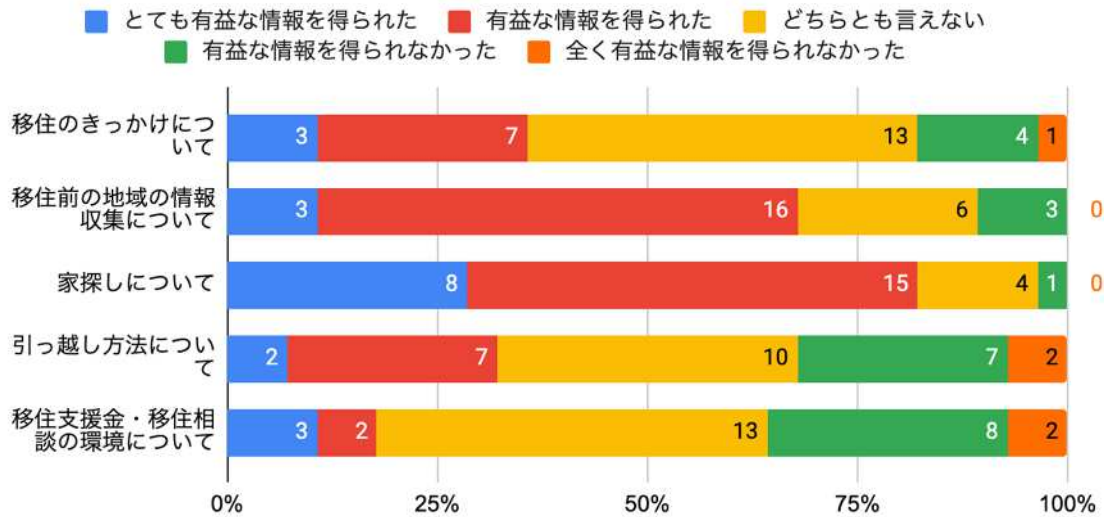
6-3.

伊是名島の動画<3本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



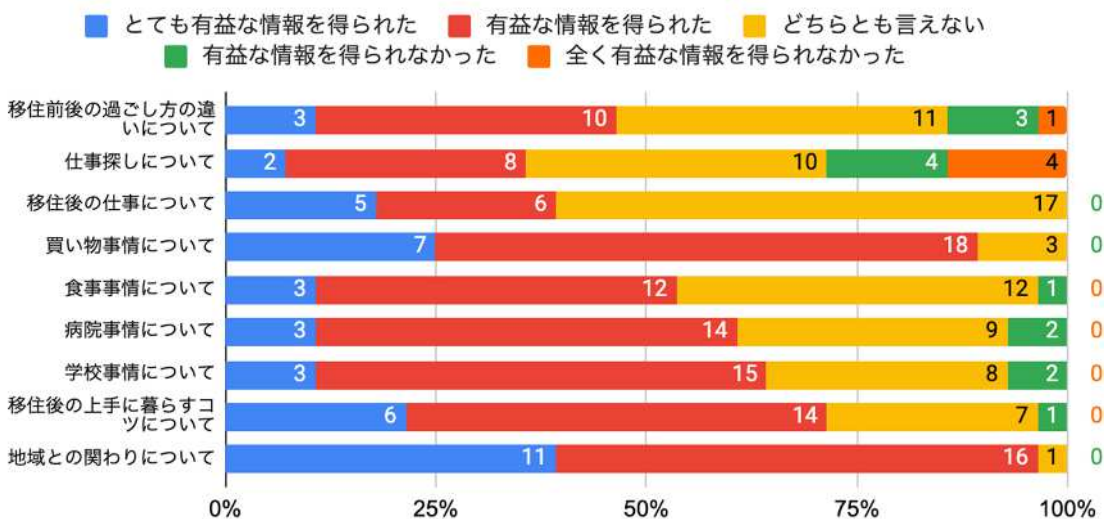
Q7-1. 動画（大宜味村：1本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、家探し、地域の情報に関して、有益な情報を得られたという回答が多い。

7-1.  
大宜味村の動画<1本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



Q7-2. 動画（大宜味村：2本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、買い物、地域との関わりについて有益な情報を得られたという回答が多い。

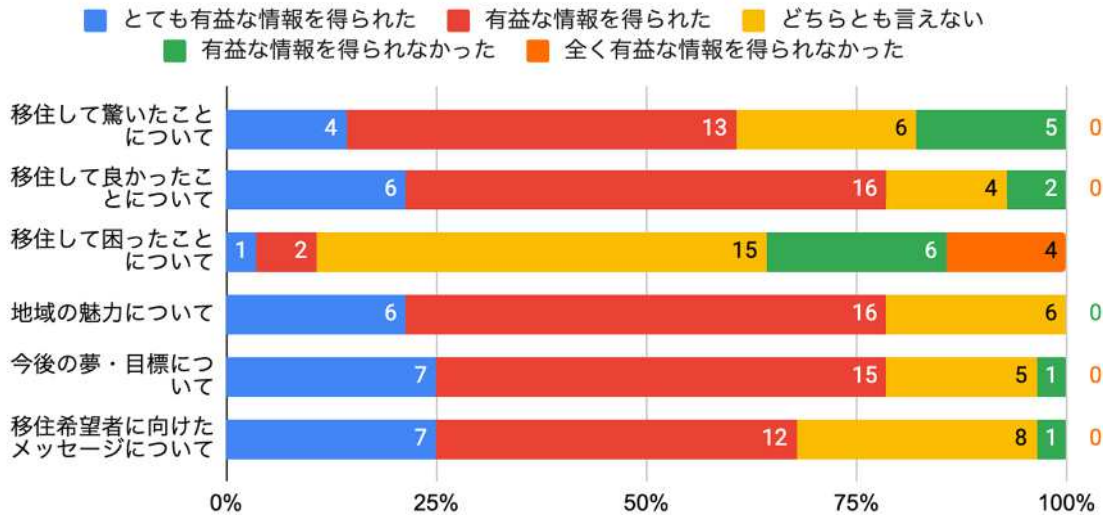
7-2.  
大宜味村の動画<2本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



Q7-3. 動画（大宜味村：3本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、移住して良かったこと、地域の魅力、夢・目標について、有益な情報を得られたという回答が多

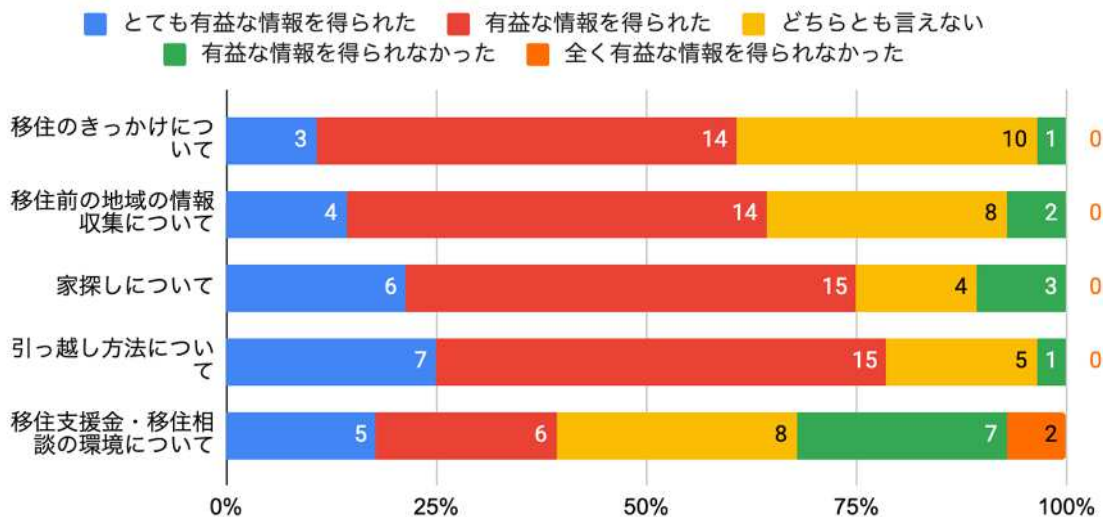
い。

7-3.  
大宜味村の動画<3本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



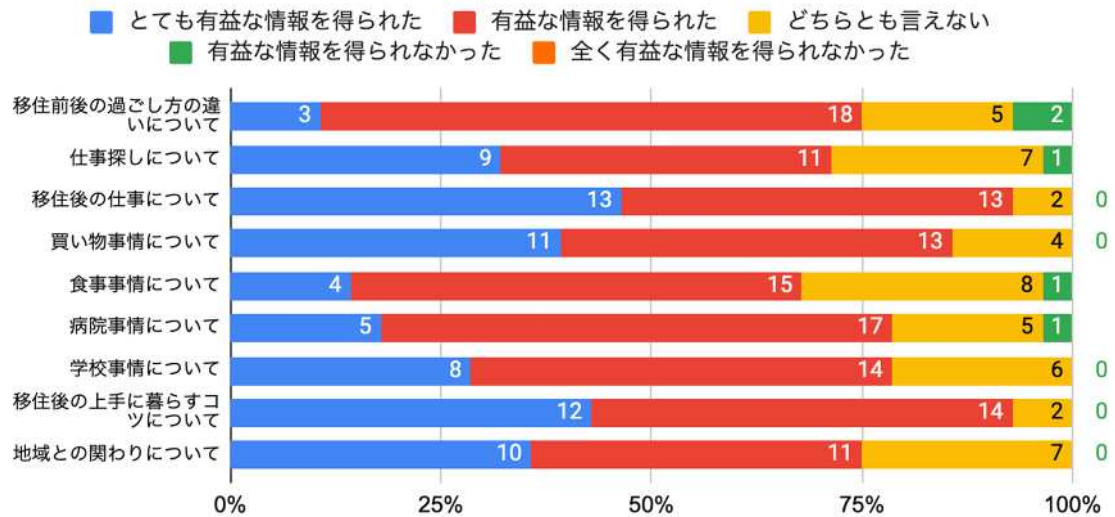
Q8-1. 動画（多良間島：1本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、家探し、引っ越しに関して、有益な情報を得られたという回答が多い。

8-1.  
多良間島の動画<1本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



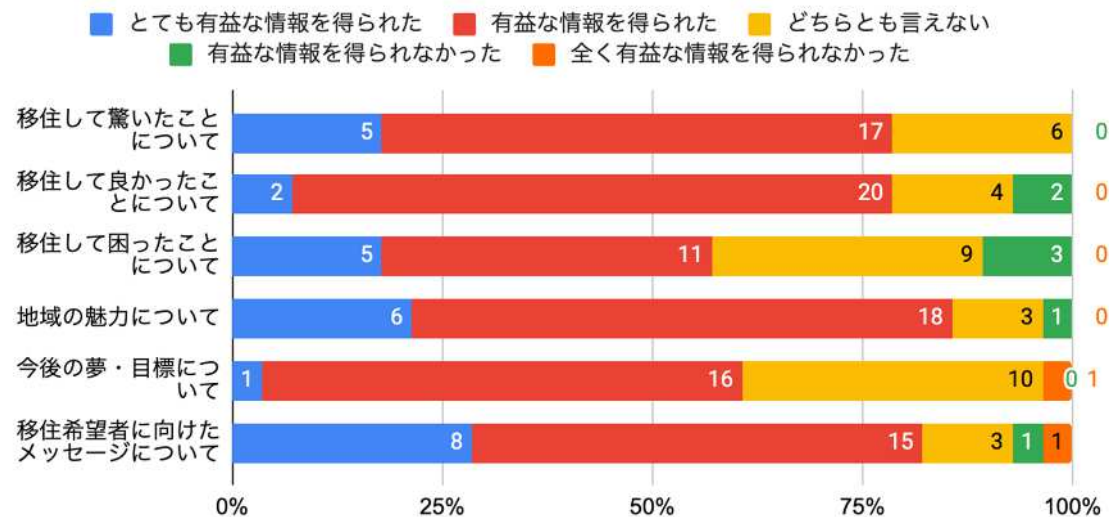
Q8-2. 動画（多良間島：2本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、ほぼ全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答が多い。

8-2. 多良間島の動画<2本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



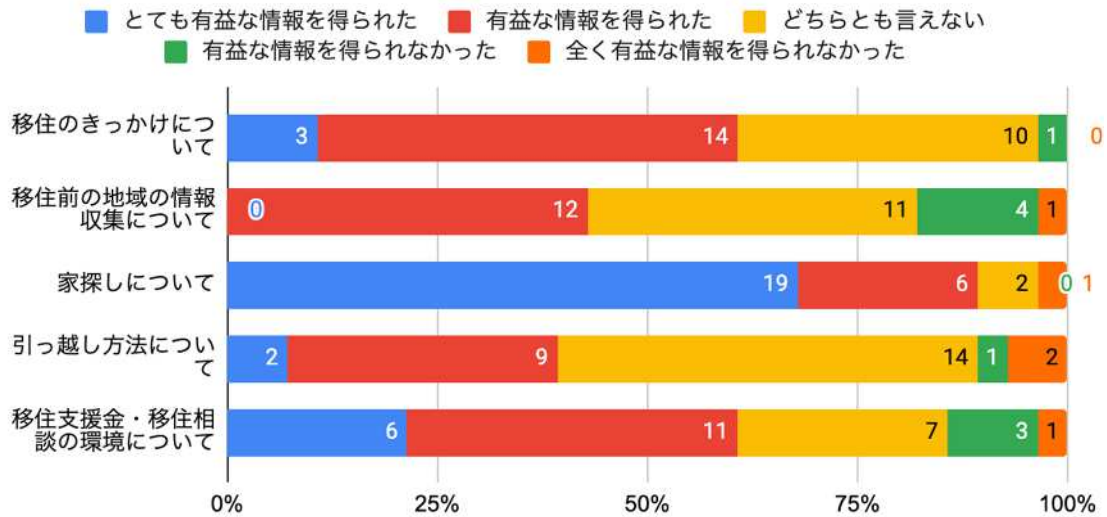
Q8-3. 動画（多良間島：3本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、地域の魅力、移住者に向けたメッセージ、驚いたこと、良かったことについて有益な情報を得られたという回答が多い。

8-3. 多良間島の動画<3本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



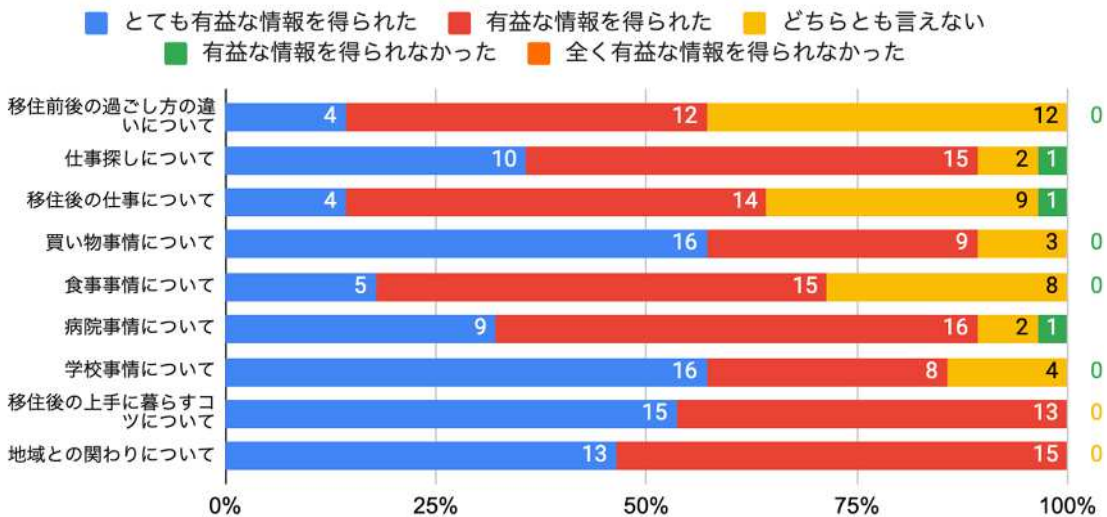
Q9-1. 動画（久米島：1本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、家探しに関して有益な情報を得られたという回答が多い。

9-1.  
久米島の動画<1本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



Q9-2. 動画（久米島：2本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、ほぼ全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答が多い。

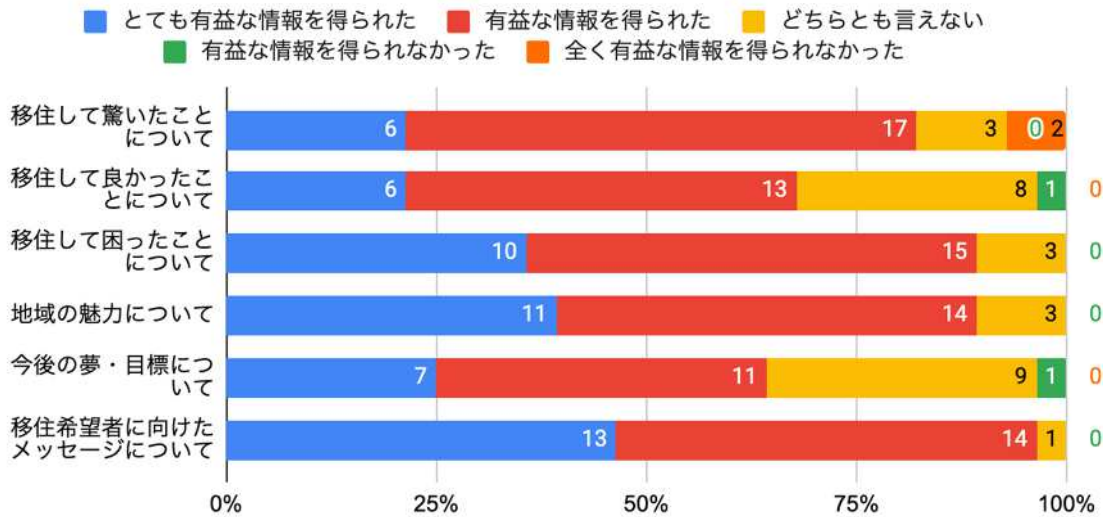
9-2.  
久米島の動画<2本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



Q9-3. 動画（久米島：3本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、ほぼ全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答が多い。

9-3.

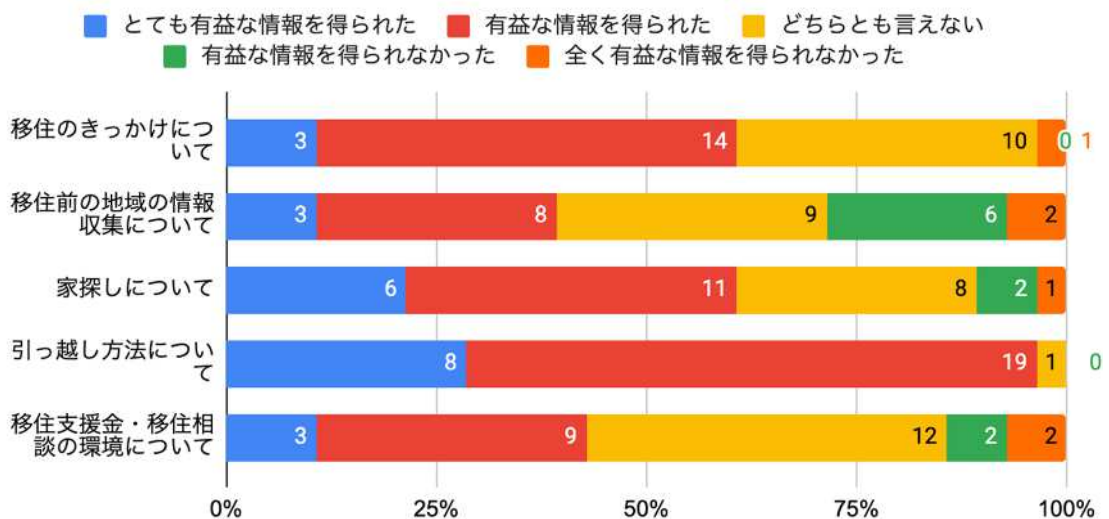
久米島の動画<3本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



Q10-1. 動画（粟国島：1本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、引っ越し方法に関して有益な情報を得られたという回答が多い。

10-1.

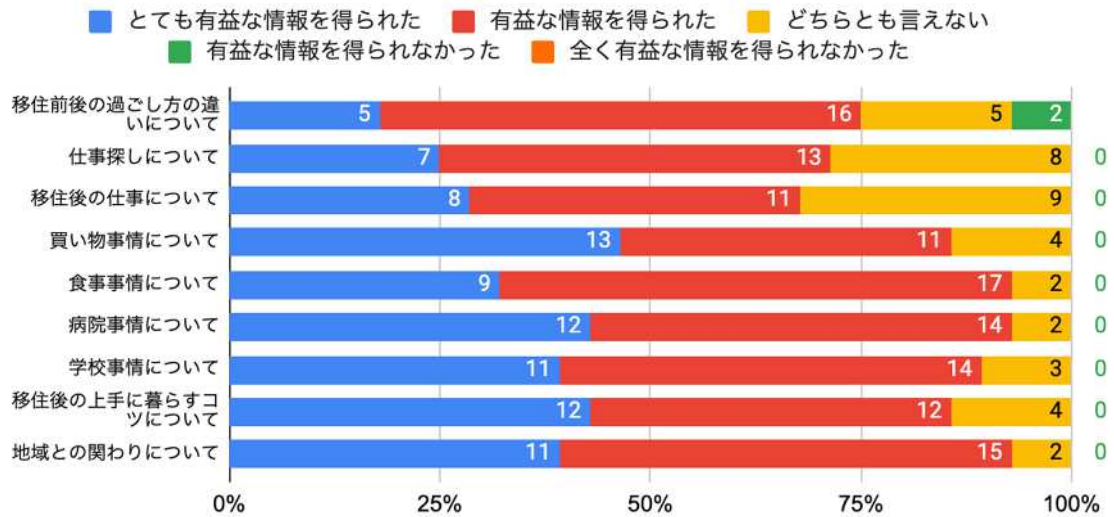
粟国島の動画<1本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



Q10-2. 動画（粟国島：2本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、ほぼ全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答が多い。

10-2.

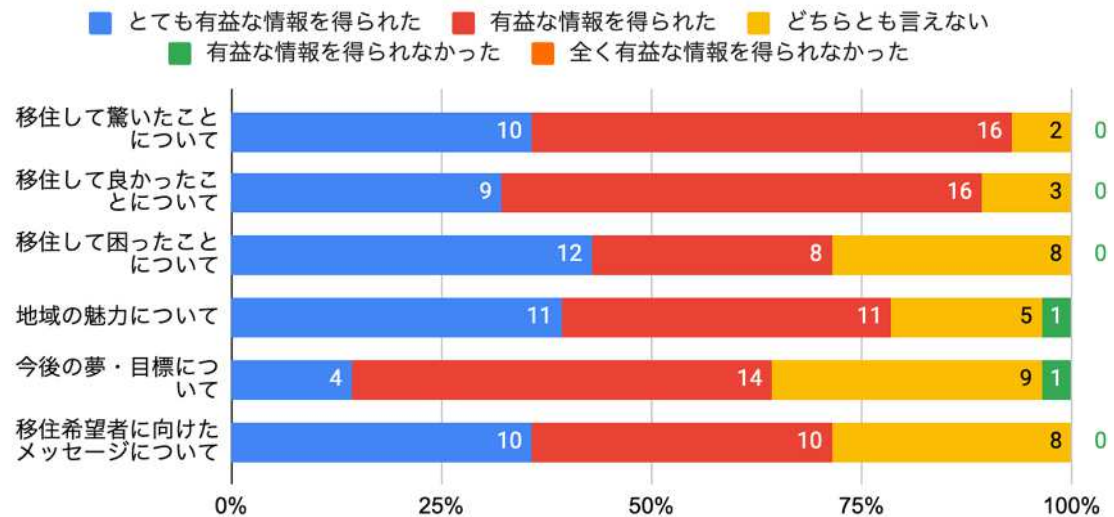
栗国島の動画<2本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



Q10-3. 動画（久米島：3本目）から有益な情報を得たかどうかを調べたところ、ほぼ全ての項目について幅広く有益な情報を得られたという回答が多い。

10-3.

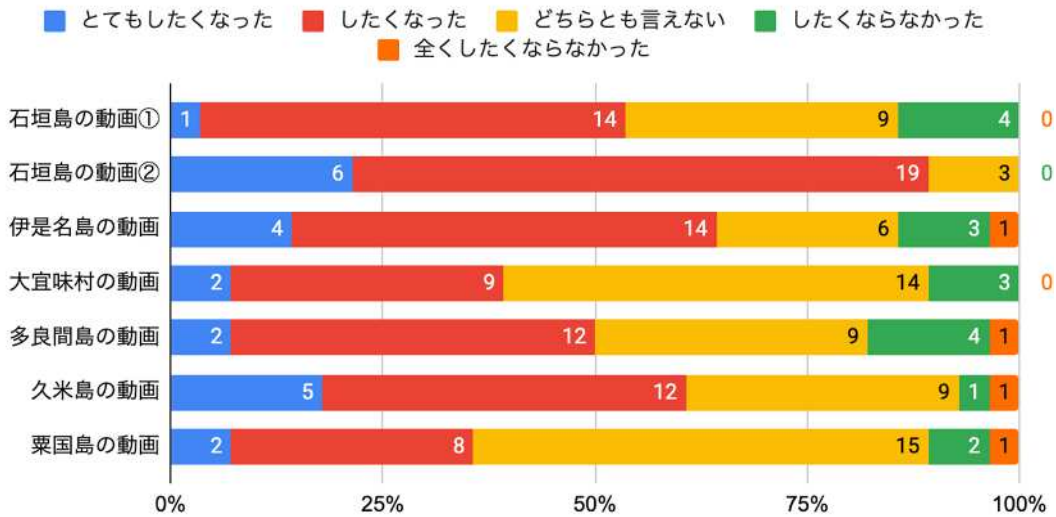
栗国島の動画<3本目の動画>移住をするにあたり、有益な情報を得られましたか？



Q4-4./5-4./6-4./7-4./8-4./9-4./10-4 動画を見て移住したくなったかどうかを調査したところ、どの地域の動画についても肯定的な回答が否定的なものを上回っており、特に石垣

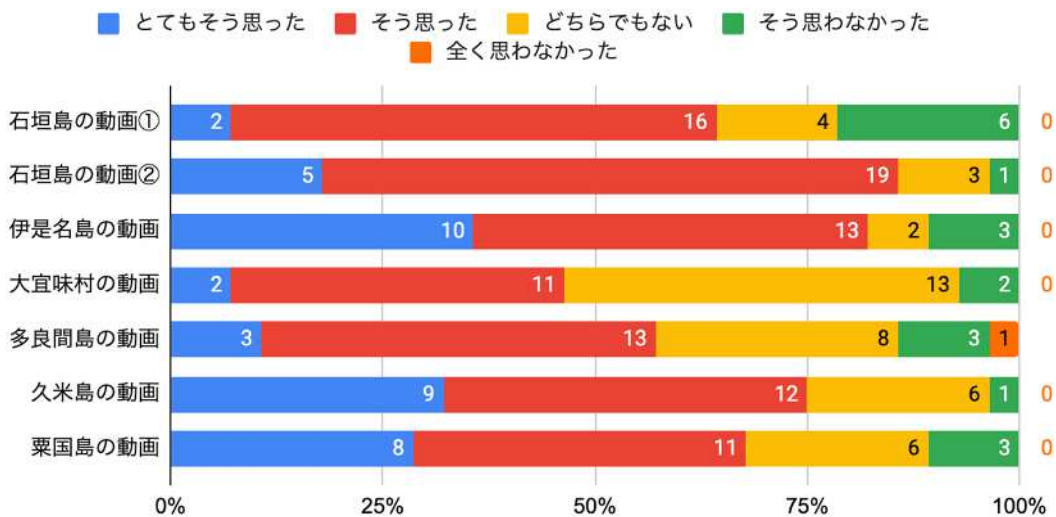
②、伊是名島、久米島の動画について、そうした気持ちがより高まったことがわかった。

4-4./5-4./6-4./7-4./8-4./9-4./10-4.  
動画を見て移住をしたくなりましたか？



Q4-5./5-5./6-5./7-5./8-5./9-5./10-5 動画を見て移住の不安・悩みの解消ができたかどうかを調査したところ、どの地域の動画についても肯定的な回答が否定的なものを上回っており、特に石垣②、伊是名島、久米島の動画について、そうした気持ちがより高まったことがわかった。

4-5./5-5./6-5./7-5./8-5./9-5./10-5.  
移住を検討する人の不安や悩みが解決する内容でしたか？



Q4-6./5-6./6-6./7-6./8-6./9-6./10-6 動画に含まれていた方がよかった知りたい情報について調べたところ、各動画（地域）ごとに以下の意見が得られた。



4-6. 動画の内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。(石垣島の動画①)

- 自然の良さ、素晴らしさを体感できることは素晴らしいですが、できる仕事に限られていると感じました。そういった点で、例えば若者の場合は将来を考えた時に自分の子供の学校、就職などの進路が限られていて、そういった不安点に触れられていなかった
- ほぼインタビューのみの映像なので、見飽きてしまう印象がありました。島の料理をしている映像をもっと増やしたり、島の人たちと話している映像、景色の綺麗なスポットなどの映像を増やして行く方が、来たいと思えるのではないかなと思いました。
- 家賃事情や生活費用がどのくらいかかるのか。
- 気候に関すること。台風、梅雨、冬の寒さ、など
- 島内のゴミ出しルール分別等
- ガソリンが高いとかお金に関することが詳しくあるとよかったですと思います
- 移住の方法が具体的説明されていたらいいな、と思いました。
- 家賃情報（市街地で1Rだと〇万円）、更に詳細な仕事の探し方（求人情報誌の有無、ハローワークの情報量、平均賃金）、移動手段（車が無いと生活できない?）
- 若い方向けの娯楽やファッション、美容関連の情報があればいいと思いました。
- 登場した方の移住した頃とは状況が違うので、最新の情報があればより参考になることがあったと思います。（引越しの方法や通信環境などのエピソード）  
お祭りやイベントは本人が楽しいと思ったっていうだけでそれがどういう内容のものかももう少し掘り下げてくれると興味が持てたかもしれない。  
3つ目の動画「地域の魅力について」がなかったです。
- 特になし。これから移住を考えている立場にとって参考になる内容でした。
- 失敗したこと
- リアルな食生活や生活費も知りたい。
- 交通の便利さなど（何を使うかなど）
- ここ数年内の移住事情を含めるべき。
- 幼稚園の情報や子育て環境がどんな感じか
- 地域のコミュニティや、人とのかかわり方がわかりやすかった。
- 地元の人から見たインタビューアの印象や思い出など  
移住検討の際の部屋探しを具体的に示してあげると良いかと思いました。  
私も移住経験がありますが、島のネットワークに繋がっていなかったため賃貸を借りるのは大変だった記憶があります。  
ゆんたくガーデンについてももう少し深く解説してもらえると参加しやすくなるかと  
病院の問題は石垣本島で難しい場合は本島に移動しなければならないのは盲点でした。健康について考えずに島に住むとリスクがある事を理解して移住する必要がある

のだと思います。

- 実際生活されている映像とか島の人と関わっている姿、表情とかも見たかったです。
- 石垣島の魅力や良い面は十分に伝わる内容でしたが、移住するとなるとそうではない面も知りたいと思うので、移住して思ったのととは違ったこと、キツイなと思ったこと等、大変だった面もあったらいいなと思いました。
- はるばる北海道から移住された動画出演者の方にとって石垣島の気候風土は北海道や本州と全く異なるものだと思います。例えば台風であるとか湿気やカビひいては虫や小動物との関わりなど、これらの実体験や対策などについてお話いただけたら良かったと思います。
- 生活面でどうしても避けられない台風のことや物資不足になることなど。物価が高いものがあるものもあれば島のものは安いことなど生活に直結しつつ、移住してみないとわからないことが含まれていると尚よかったと思う

5-6. 動画の内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。(石垣島の動画②)

- 介護ヘルパーのお仕事をされているとのことでしたので、地元の介護業界の状況や移住者が島の職場で困っていることがあるか（コミュニケーションや働き方の違いなど）
- 介護施設の情報
- 本土の人と沖縄の人の気質の違いなどの情報
- 島暮らしのマイナス部分も誠実に話されていたので印象がよかったです。インタビューを受けている方の年代の女性のコミュニティ(地域の婦人会とか)についてのお話があっても興味深いかと思います
- 家賃や賃金についての情報
- 含まれていたら良かった内容は無いです。全体的に個人の話で、具体的に参考になる情報が少ないと思います。
- やはり家賃情報。どれくらいの、またどのような求人があるのか。
- コンテナで引越しという発想やアイデアが初めて聞いたものだったので、もう少し具体的に手配の方法や流れを知りたかったです。
- 1つ目の動画の移住サポートについて、ご本人は利用していないが現在はこういうのがあると具体例があると良い。(市役所のブースとかよくわからなかった。)含まれていた方が良い、ではなくてすみませんが、3つ目の動画、今後の夢で出てきたい焼きが宣伝らしさがにじみ出ていたのでない方が良かった。
- 公共交通機関などの普段の移動情報
- さがりばなや夜空観測は良いなと思った。島での楽しみ方をもっと聞きたい。
- コンテナについて言及があったが、引越についてもっと言及があるといい。他地域と

の引越とはだいぶ事情が違う。

- 石垣①の方と同じで、移住時期が少し昔すぎる。すべての項目で内地で住んでいた時との違いに触れるべき。
- 地域のコミュニティ 近隣の人との付き合い方
- 将来生活するための収入について
- 祭りのイベントや楽しい事などが含まれていましたが、石垣島含めた沖縄の魅力の海の話がなかったな。という印象です。  
やはり石垣島でスローライフを過ごす。という夢をお持ちの方も多いと思うのでシュノーケリングやダイビングなどの海の魅力の話を増やすと良いかなと思いました。
- 体調に不安のある方でも安心して暮らせる環境であることは分かりましたが、病院に婦人科的なところもあると仰っていて、石垣島で出産できる体制もあるのか気になりました。
- 動画出演者の方のようにシニアのご夫婦で離島に移住したい移住希望者には、移住に対して背中を押されるような内容でとても良い内容でした。できればご主人の移住後のご様子やご夫婦の過ごし方をお聞かせいただけたらさらに良かったかなと思います。
- 台風のことや配送料がかかることなど。島時間があることのんびり楽しめること等は移住者にならないとわからないことだと思うのでとてもよかった。

6-6. 動画の内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。(伊是名島の動画)

- 移住相談員にどのように連絡したらよいのか知りたい。
- 伊是名島で所有の車、バイク、の車検、整備工場はあるのか？
- インタビューを受けている方が島の人と結婚された方だと思うのですが、島にお嫁にきてよかったこと困ったことのお話をお聞きしたいなと思いました。
- 伊是名島と沖縄本島の距離感やアクセス方法
- 特にありません。
- 家賃情報、一般的な仕事の探し方
- Amazon などでの買い物のタイムラグについて、本島や他の離島よりも時間がかかりそうなのでもう少し詳しく知りたかったです。
- 1つ目の動画いきなり結婚の話が出てきたりよくわからなかった。夫が島の人だったという意味ですか？

動画・字幕が話全部流すのではなくて要点を端折ってまとめたり、足りない言葉を補ったりしてあったら良かった。

1つ目の動画引っ越し方法についてのコメントが欲しい。

通信環境など知りたい

- 移住前に前準備した方が良いことなど
- 距離感とか、離島出身者が聞いても言い当て妙だった。住む前に、その辺を聞きたい人でした。
- 楽しい内容だったが、移住のきっかけや準備が（良いことなのですが）整いすぎていて、参考にならない部分が多いので、伝手のない人の立場の意見が欲しい。
- 今、移住したい人に役立つ内容であった。
- 島での仕事探し
- お子さんがいるのか、義父母との同居なのかなど
- 飲み会の際にそーとトイレに行くふりして帰ったという話がとても面白かったです。話し方がとても上手なので沖縄の方との関係性を築くのが上手なのだと思います。一人でお話しされている動画よりも二人で会話形式で話している動画があっても人柄や島の雰囲気がさらに出て良いのかな。と思います。
- 移住相談員ということもあり、全て引き込まれる内容でした。向き不向きについても話されていて、移住する際には相談したいと思いました。
- 移住相談員や移住支援活動また移住希望者をサポートしている方だからこそ、先輩移住者と移住希望者両方の立場でお話をされてとても良かったですしなによりも心強く思いました。そんな方の活動また支援内容についてもっと詳しく発信してほしいと思いました。
- 本島とのアクセスや実際の買い物で通う頻度などがわかるとより具体的でよかったと思う。あと台風の時の苦労は知りたいと思った。

7-6. 動画の内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。（大宜味村の動画）

- 地域の方々とのトラブルがあるかないか、具体的なエピソードなど
- 島ならではの子供の遊び場などが知れたら良かったかなと思います。
- 少ない中で具体的な情報収集方法がもう少し聞きたい。どのように信頼関係を築いて行ったのか。
- 一般的な移住者がつける職業
- 海に面しているなので、台風時の状況を知りたい
- 行政のサポートについて具体的な情報があるとよいと思います。
- 沖縄本島の中での大宜味村の位置と、那覇空港へのアクセス
- 特にありません。
- 住んでいる団地の広さと家賃。住居物件はどのくらいあるのか？
- 画像の子供と同じくらいの子供がいるので、実際にどういったところで遊ばせているのか、公園や支援センターなどの情報があればいいと感じました。
- 一般的な人の仕事探しの方法。

- 病院事情や学校事情について、もっと詳しい内容を話してもらいたかった。
- 気を付けることなど
- 先祖ゆかりの地や独特な職だったので、奥様を交えて子育てのことも聞きたかった。
- 沖縄生まれかつ、芯がしっかりとしていて仕事に誇りを持って移住されている方なので、そうでない人ならどう？という視点で村サイドなどから補強があるといい。
- 家族で移住してきて、奥様の反応がどんな感じだったかを知りたかったです
- 子育て環境について
- 構成が違ったら良かったと思う。いきなり船大工と言われてもリアルに感じられない。旅行会社に勤めていて…からの流れが感情移入しやすいと思う。
- 家族の反応例えば奥様から見た視点の話があるとさらに良いかもしれません。情報の中で旦那様の視点しかないため、これが女性の奥様の視点が入るとさらに良い動画になるのではないかと考えます。
- 各動画、移住も人それぞれなので、最初にその人の自己紹介などがあると内容が入ってきやすいと思います。
- 2本目の動画の前半は特に、大宜味村の内容よりも個人的な内容が多く、移住をするにあたっての情報が少なかったように思いました。他にどのような仕事があるのか、その方々にとっても住みやすい村なのかを知れるといいなと思いました。
- インタビューの中に何度も名護のお話があり、位置的にも大宜味村から近い(車で30分)という事なので、名護の情報についてももう少し詳しくお話を聞かせていただければ良かったと思いました。
- 台風の苦労や名護他の都心部への買い物事情など週に〇回行く等具体的にわかれば良かったかも

8-6. 動画の内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。(多良間島の動画)

- 病院がやはり少ないと感じました。定期健康診断などがあるのかないのかなどについて触れてくれているとよかったです。
- 家族の反応についてのインタビューはいらなかったと思いました。
- 移住を相談するところがあるか
- 賃貸情報
- 多良間島の位置とアクセス
- 具体的な移住の方法
- やはり家賃情報と、急病等で近隣の大きな島に行くときにいくらかかるのかが知りたい。
- コミュニケーションが全てという印象を受けたので、コミュニケーション能力に自信

が無い方にももう少し寄り添った内容だったら良かったと思いました。

- 自炊は半々です→外食と自炊と半々かと思ったら外食もしないそうなので、何と半々か？  
買い物はネットばかりでお酒やおつまみくらいしか買わないそうですが、日々の食材もネットなのか？もしご本人が極端な例の人なら、一般的にはどうなのか？  
ところどころ情報が足りなかったなのでその辺りも詳しく知りたい。
- 島の魅力や住みやすさなどもっと伝えて欲しかったです。
- 苦労したところ
- WIFI 環境とか、カスタマーしていて、電話が切れやすいとかないのだろうか。知りたかった。
- 子育て環境について
- 島の魅力が伝わらず、仕事に不安が残り移住したいと思えない。
- 島内で求人が結構ある印象ありました。Amazon を活用してスーパーをあまり使わない。ドラッグストアがあまりないなどの情報がとても参考になりました。  
やぎ刺しのグルメはとても気になったのでグルメについて増やしても良いのかもしれない。
- 移住するために自分で歩き回ってどのように情報収集をしたのか詳しく聞きたいと思いました。
- 離島あるあるかとは思いますが、本業である“地域おこし協力隊”の内容や採用についてももっと詳しくお話しただけなら、移住後の仕事の候補にもなるし移住きっかけにもなるかと思いました。
- 宮古への買い物頻度などが知れたらよかったと思う

9-6. 動画の内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。(久米島の動画)

- 一週間住んでみたら合うか合わないかわかるとおっしゃってましたが、移住するということが自体社会人になってからではなかなか大変な出来事だと思います。合わないからやっぱり辞めるっていうのも難しいので、不安が払拭するとは言えなかった。そういった不安点を取り除く内容があればよかった。
- 文化的施設の紹介
- 実家(本土)に行く頻度、正月、お盆？
- リアルなお話でわかりやすかったです。  
今回初めて動画で台風のお話があったので、更に沖縄特有の天候のお話があればわかりやすいと思います。
- 久米島の位置とアクセス
- 特にありません。

- 家賃情報。島内の移動手段。
- 移住に関する支援金が表示されているものだけなのか他にもあるのか、もう少し詳しく分かればいいと思いました。
- この方は必要なかったが、移住前の情報収集、引越しの方法は一般的な方はどうしているのか情報があつたら良かった。でもそれ以外の情報は充実していて理解が進みました。
- 特になし
- 沖縄らしい学童の試みとか、子育てで良かったこととかをもっと聞きたかった。
- 他動画でも書いたが、移住することや家が決まっている状態の人以外の視点での意見が欲しい。
- 仕事の求人など
- 移住者のターゲットが若い独身女性であれば、リゾートバイトの部分を詳しくした方が響くと思う。子育て情報はリアルだったが、ターゲットが家族向けでは家や引越し情報が足りない。
- リゾートバイトで働いていると確かに良いと思いました。私も移住している際にリゾートバイトで働いている子と友人になる事も多く。  
私なりにわかっている情報をお伝えしたりしました。  
こんなリゾートバイトがある。的な話をしてあげても良いかもしれません。  
後、地名がわからないは沖縄あるあるなので、知名と読み方をテロップでつけて説明すると面白い動画になるかとも思いました。
- 色んな情報が入っていて、情報として足りないと思うものはありませんでした。
- 仕事探しのお話の中で“島ぐらしコンシェルジュ”の紹介がありましたが、私も久米島への移住前そして移住後も大変お世話になっております。特にオンライン相談会や実際に本州で相談会を開催されており、結果、私は久米島移住を決断したので“島ぐらしコンシェルジュ”の活動についてもっと詳しくお話しただけなら良かったかなと思います。
- スーパーの具体的な名前があるとよりわかりやすかった。

10-6. 動画の内容以外に、含まれていたら良かった内容があれば教えてください。(粟国島の動画)

- 周りと比べて生きることがなくなったとおっしゃっていたのが印象的。その反面、子供が競争社会の中で取り残されていくのでは？と思った。そういった子どもの教育面についてもっと掘り下げてよかったですとおもう。
- 島にはどんな仕事があるのか、もっと詳しく知りたかった。
- 人口と年齢の比率
- 島の水道事情(水質、断水)など

- 離島の学生寮のお話があったので、仕送りなどもう少し島を出た後のお金事情や学生生活についてお話が欲しいなと思いました。
- 粟国島の位置とアクセス
- この動画だけでなく全体的にですが、魅力を伝えているだけで、「情報」ではないですね。それと結局、知り合いがいないと家も探せず、仲良くできなければ移住は無理、という印象を持ってしまいました。
- 家賃情報、給料情報。島では何が入手できないのか？ 島の中学校を卒業して沖縄本島に移住して高校へ通う場合の寮の費用や助成金はあるのか？
- 話が聞き取りやすく分かりやすい内容でした。子育て関連がもう少し詳細がわかるといいかと思いました。
- 那覇に住んでいた方なので、那覇と粟国島のそれぞれの違い、こういう人は那覇の方がいいとか比較。でも全体的に相談の連絡先など書かれていてわかりやすかったです。
- 離島に関しては、移住を検討する時に自分でも調べるはずですが、交通手段や所要時間など具体的にお話してもらるか、表などで見れると現実的に感じられるかと思いました。こちらが単身なのか夫婦なのか、子どもと一緒に移住なのかなどで、必要な学校事情や買い物・病院事情が変わってくる事もあるので、補足情報など出るともっと伝わりやすいと思いました。
- 沖縄本島との違い
- 沖縄本島に行って買い物をする場所や、冷凍物を買うなら、クーラーボックスでいいのかとか。ちょっと溶けると、再冷凍は食品劣化するだろうし。
- 他動画でも書いたが、移住することや家が決まっている状態の人以外の視点での意見が欲しい。
- 子育て環境 学校のことなど
- 学校司書は誰にでもできる仕事ではないので移住に結びつきにくい。他の移住者でこんな職業の人もいるなどあれば良かった。
- 物価の高さは驚きをもっと与えられるかもしれません。  
また粟国島といえば洗骨や埋葬の仕方がとても独特だったと記憶しております。その点について移住する上で理解しておくの良いことがあれば動画に追加すると良いかと考えました。
- 自分が住んでいる島であることから、客観的に見るのが難しいと感じました。  
動画にも少し触れていましたが、高齢化が進んでいる粟国島ですが、小さい島に老人ホームがあることも魅力の1つなので、そこをもっと発信できていればよかったなと思いました。
- 沖縄といえば「ハブ」が生息しており、本州の人たちにとっては大変恐怖をおぼえるところです。かつては粟国島には「ハブ」はいなかったそうですが、現在は粟国島に



も「ハブ」が定着しているとの事。

そこで次の先輩移住者インタビューでは、粟国島だけでなく他の離島や沖縄本島でのハブ被害の状況やハブ対策に関する情報を発信していただけると良いかなと思います。

- 本島との所要時間や島で買うことができない食品などの詳細が知ればよかった

## 9.6 PR 活動全般に関する自己評価

PR 活動ごとに、業務にあたった事務局自身による評価を以下にとりまとめた。

項	PR 活動	評価
1	PR 動画の制作・発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3 地域 6 本以上を制作するという仕様に対して、6 地域を対象に合計 21 本の動画を制作した。</li> <li>○ 発信後、短い期間にもかかわらず多いものでは 2000 回以上の視聴がなされており、多くの移住検討者にコンテンツを届けることができた。</li> <li>○ 制作した動画に対する評価も良好で、事業効果の高い取組であると判断できた。</li> </ul>
2	2 地域居住先輩体験者記事の作成等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 石垣市、大宜味村、うるま市(津堅島)の 3 地域を対象に、実際に 2 地域居住を実践している方にインタビューを実施し、記事を作成・発信した。</li> <li>○ 移住のきっかけ・メリット・デメリットなど、閲覧者ニーズに沿った有益な情報を提供することができた。</li> <li>○ 制作した記事に対する評価も良好で、事業効果の高い取組であると判断できた。</li> </ul>
3	WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ オンライン学習塾の記事制作においては、東村の利用者をモデルとし、高齢者見守りの記事制作については、大宜味村の利用者をモデルとした。オンライン学習塾や高齢者見守りのサービス提供地域の実態を鑑み、周知のターゲットを当該の 2 地域を含む北部三村としたことから、大宜味村、東村、国頭村に「公式運用 SNS」と「広報誌」での周知協力を仰いだ。</li> <li>○ 自治体から得られた協力の実績は、高齢者見守りサービスについて、①大宜味村公式 LINE、②東村広報誌、③大宜味村広報誌、④国頭村広報誌の 4 媒体で紹介されたが、どの記事について、どの媒体で周知するかは、自治体の意向に沿って行われ、オンライン学習塾の記事の紹介に</li> </ul>

		<p>については、自治体広報誌等の掲載は見送られた。</p>
4	モニターツアーの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ モニターツアーの参加者の希望に応じて訪問先を調整するオーダーメイド型のツアーを3地域で実施し、石垣島=3組4名、多良間島=3組5名、粟国島=1組1名の参加がありました。なお、粟国島には合計で4組の申込があったのですが、悪天候などでキャンセルまたは多良間村に希望を振替となった。</li> <li>○ 参加者アンケートを通じてツアーの効果を調査したところ、得られた情報・ガイドの説明・参加して良かったか、の全ての項目について、満点の評価が示された。より重要なこととして、今回のツアーで移住（ないし2拠点居住）したい気持ちが「とても高まった」（6割）ケースと「高まった」（2割）ケースを合わせて8割の参加者が移住への気持ちの高まりを示し、事業効果を確認することができた。</li> </ul>
5	相談・受入体制の構築	<p>オンライン相談のためのプラットフォーム構築のツールとして、LINE/Slackではなく、Google社のツールを選定した。Google社のツールは、利用するためにGmailが必要であるが、円滑な運用に必要な機能等を付け加えるための開発が可能で、利用者も運用者も開発者も無料で使うことができ、セキュリティ面でも優れたプラットフォームを構築することができた。</p>

6	ワークショップ等の開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ モニターツアーの開催地域と同じ3つの地域を対象としたワークショップをオンラインで開催し、多良間19人、石垣は20人、粟国は14人の参加があった。</li> <li>○ 参加者による評価も良好で、移住検討者からの有益な情報提供に留まらず、地域の関係者も交えた意見交換を実現できた。</li> </ul>
---	-------------	---

さらに、事業全体として、以下の評価と課題をまとめた。

事業全体への評価	
<p>事業に求められる KPI の達成に向けた取組としての6つの PR 活動について、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本事業の仕様を満たすかたちで、事業開始当初に予定された活動を全て執り行うことができた。</li> <li>○ 本章における効果検証を通じて、KPI 達成に向けた取組として、先輩移住者や活動参加者から高い評価を得ることができた。</li> </ul>	

## 9.7 今後の移住促進 PR 活動のあり方についての検討

本年度の事業推進を通じて、今後の移住促進 PR 活動に関し、検討すべき課題と考えられる事項を以下にまとめた。

項	PR 活動	課題
1	PR 動画の制作・発信	「先輩移住者の現在の生活スタイル」に関する話題を扱うコンテンツを有益だと感じるケースが多かったため、そのようなコンテンツを強化しつつ、「支援情報」を含む移住する際に役立つ情報をもっと充実させて欲しいというリクエストにも応える必要がある。
2	2 地域居住先輩体験者記事の作成等	先輩移住者本人だけでなく、子どもや家族のことを取り上げて欲しいという評価が多いため、そうした内容を含むコンテンツを制作する必要がある。
3	WEB 媒体等への記事掲載及び広告配信等	記事の周知に関して、自治体の協力を得るために、時間と労力がかかるため、事業期間の早いタイミングで記事を制作し、周知依頼を早め実施する必要がある。

4	モニターツアーの実施	ツアーを集合型ではなく、オーダーメイド型で実施する方が、参加者にとって利便性・満足度が高く、事業効果も高まると考えているため、オーダーメイド型での実施を継続すべきと考える。なお、R5年度は、ツアーの実施時期が冬となり、悪天候でキャンセルが続いたり、限定的な季節だけで実施するよりも、できるだけオールシーズンで実施した方が良く考えており、事業期間のなるべく早いタイミングからツアーを実施できるようにスケジュールリングをすることが必要である。
5	相談・受入体制の構築	先輩移住者によるオンライン相談のプラットフォームは、他のPR活動（PR動画・記事、モニターツアー、ワークショップ等）と連動したかたちで活性化が期待できる。制作するコンテンツの中で相談プラットフォームを宣伝し、ツアー参加の前後での相談をうながし、ワークショップで告知するなどの手法を新たに導入すべきと考える。また、当初は、移住先での「生活」「仕事」「余暇」のカテゴリーの相談が多く寄せられると想定していたが、実施には、それらに加えて「治安・災害・インフラ」についての問い合わせも多かったことから、今後は、そうしたカテゴリーの問い合わせに対しても適切な回答を用意できるように、相談員向けのマニュアルに回答例を追加することを検討する必要がある。
6	ワークショップ等の開催	ワークショップでの先輩移住者からの講演や、意見交換・質疑応答は好評であったが、一部の自治体側からの情報提供に課題が残された。

さらに、事業全体として、以下の課題をまとめた。

事業全体としての課題
<p>当初の想定よりも、移住促進を重点的に行う対象地域との調整業務に時間と労力を要した。そのため、事業実施スケジュールに遅れが発生した。そこで、より効率的な調整活動に努めるとともに、事業期間開始とともに、地域との調整を早めに開始する必要がある。</p>

## 第10章 おわりに

令和5年度離島・過疎地域づくり DX 促進による移住定住 PR 等事業において、デジタル技術を活用した移住定住条件の整備に係わる、各種 PR 活動を実施した。2 拠点居住を含む移住を促進するために、コンテンツを制作し、ワークショップを開催したが、いずれにも効果検証において良好な評価を得ることができた。とりわけモニターツアーについては、オーダーメイド型のツアーを採用したことで、参加者から極めて高い評価が得られた。

制作された動画や記事には、先輩移住者がモデルで登場している。地元に住む先輩移住者自身が、PR コンテンツ制作に係わることで、自身の経験を自身の声でメッセージを届けることができた。これにより、移住を検討している人たちの身になって、移住者が欲している情報を取り上げ、自分事として実感のある声で、移住者が抱える期待と不安に寄り添ったコンテンツを制作、配信することができた。

PR コンテンツは、事業期間中に制作され、沖縄県公式移住応援サイトおきなわ島ぐらし等を通じて発信された。コンテンツは、事業期間終了後も閲覧可能で、これからも多くの閲覧者に参照されるであろう。それにより、沖縄の離島・過疎地域に移住したい気持ちが高まることが期待される。こうした取組が、離島・過疎地域の距離と時間の制約を解消し、地理的条件不利性の克服に繋がるであろうと期待するものである。